

小山市民討議会 2014

ウェルカムまちづくり 実施報告書



小山市民討議会

一人と企業を呼び込むまち

1. 結婚に興味を持たせるには
2. 小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには

一般社団法人 小山青年会議所・小山市



ウェルカムまちづくり —小山市民討議会 2014—

■ 実行委員会メンバー

実行委員長	永藤 秀明 (一般社団法人 小山青年会議所)
実行副委員長	飯島 和子 (小山市)

社団法人 小山青年会議所	小山市
岡野 宣裕	初澤 正実
田村 友則	水野 辰雄
中屋 大	岸 真司
吉新 昇弘	水野 長司
磯島 貴司	池澤 信行
鈴木 健治	池澤 明宏
田中 宏孝	中村 洋之
稲葉 吉起	
大木 英憲	
古川 哲也	
岡田 豊	

事務局長	菅野 陽介
事務局	大島 智
	中山 信夫
	知久 敬子

協力団体

白鷗大学ボランティアサークル
UN-UNI (あんーゆに)

実施報告書目次

はじめに	2
小山市民討議会2014 開催趣意書	3
第1章 市民討議会について	
1 - 1 . プラヌクスツェレとは	4
1 - 2 . 市民討議会とは	4
新しい市民参加のかたち	
市民討議会の流れ	
第2章 小山市民討議会について	
2 - 1 . 小山市民討議会2014「ウェルカムまちづくり」実施概要・経過	6
概要	
協定の締結	
運営組織	
スケジュール	
討議テーマ	
2 - 2 . 討議方法	9
2 - 3 . 参加者について	10
無作為抽出の方法	
参加者数	
参加者への謝礼	
参加者の反応	
2 - 4 . 広報について	11
ホームページ	
第3章 情報提供と討議結果	
3 - 1 . 第1回目話し合い	12
3 - 2 . 第2回目話し合い	20
第4章 小山市民討議会の検証	
4 - 1 . 小山市民討議会実施後の取り組み	31
報告書の作成、提出	
事後のフォロー	
4 - 2 . アンケート調査の結果について	32
参加者アンケート集計結果	
おわりに	41



はじめに

暑さますます厳しくしのぎがたい毎日が続いておりますが、『小山市民討議会2014』に参加頂き、誠に有り難うございました。2008年に第1回目が始まり、今年で第7回目となりますが、テーマに基づき出た意見を市政に届ける事を目的とし、開催して参りました。

2014年は、冬季オリンピックがソチで開催され、男子フィギアスケートでは、羽生結弦選手が金メダルに輝きました。またブラジルでは、サッカーワールドカップが開催され、スポーツで日本中が熱狂しました。

今日「市民参加」「市民との協働」がいたるところの自治体で言われています。小山青年会議所も同様である。「民主主義」が市民を主人公としているため、「市民の声を聞く」とは当たり前のことではありますが、「市民の声を市政へ届ける」といった市政と市民のパイプ役を担う小山青年会議所においても重要な事と位置づけております。

『小山市民討議会2014』は、小山青年会議所メンバーと行政からテーマを募りまして、市民生活に直結するような絞ったテーマを2つ選び、無作為抽出された20歳から45歳の小山市民の皆様で討議を行いました。皆様からは幅広い意見を頂き、市政への提言とし、反映させて頂きます。そして、サイレントマジョリティー（物言わぬ大衆）といった多くの市民を取り込んだ真の市民自治による協働のまちづくりをさらに推進して行きます。

最後に『小山市民討議会2014』を開催するにあたり、大久保市長をはじめ行政関係者の皆様方、白鷗大学関係者の皆様方、一般社団法人小山青年会議所メンバー、そして趣意をご理解頂き、貴重な時間を割いて、ご参加くださいました市民の皆様方に御礼申し上げます。



小山市民討議会2014年実行委員会
実行委員長 永藤 秀明

小山市民討議会2014 開催趣意書

現在のわが国は、少子高齢化社会の進展、様々な格差の顕在化、地球規模での温暖化対策など、社会経済情勢は混迷を深めており、国家財政の健全化に主眼を置く三位一体の改革とあいまって、地方自治体は大きな転換期を迎えています。

こうした時代にあって、最も大切なことは、地方自治の担い手である地域住民の声に耳を傾け、的確に施策に反映させていくことによって、協働のまちづくりを進めていくことでもあります。

一般社団法人小山青年会議所は、明るく豊かな社会の実現の為、市民が主役となる市民協働のまちづくりを積極的に進めているほか、様々な市民活動に参画してきております。

また小山市は、これまでも「市長への手紙」、「市政モニター」、「パブリックコメント」などの広聴活動のほか、「小山市総合計画策定市民会議」の設置などを通して、市民の声を市政に反映させてまいりました。

このような機会の創出は、小山市民の社会参画意識を高めることに大きく貢献してまいりましたが、一方では、このような意識が十分に浸透しているとは言い切れません。

このたび、一般社団法人小山青年会議所と小山市は、より多くの市民の方が、社会参画意識の高い市民へと意識改革されることが期待され、市民参加と協働を積極的に推進してゆく次なる一歩となりうる、新たな市民参加の手法の検証を行うことを目的に、8月に「小山市民討議会2014」を協働で開催いたします。

「小山市民討議会2014」はドイツの市民参加の手法を参考に実施いたしますが、その特徴は次の5点です。

20歳以上の市民を対象とした無作為抽出という方法により、これまでの社会参画意識の高い市民以外の方にも参加を促すきっかけとなります。

討議会への参加者には日当を支給します。これは金銭を支給することにより参加者に「責任ある仕事」として取り組んでいただく為です。

討議テーマについては専門家から情報提供を受けることができるため、専門知識を有しない方でも安心して参加できます。

プログラムの進行に従い各自の意見を出し合うことで、市民の知恵や良識を行政に反映することが出来ます。

ディスカッションの手法や内容及び成果について、実行委員会が検証・評価を行い、報告書としてまとめ、公開します。

テーマごとにディスカッションを行い、今回は賛否をとって結論付けすることはありませんが、市民の皆様が抱える課題や関心を明確化し、提案については市の施策などに反映させ、小山市をよりよいまちにすることを目指します。

一般社団法人小山青年会議所と小山市が協働で開催することにより、「市民参加と協働のまちづくり」の実践がまたひとつ始まるうとしています。市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年1月1日

小山市民討議会2014 実行委員会



第1章 市民討議会について

1-1 プラヌクスツェレとは

プラヌクスツェレ (Planungszelle : 計画細胞) は、ペーター・C・ディーネル博士により1970年代に考案された市民参加の手法です。最初に行われたプラヌクスツェレは、1972年にドイツ・シュヴェルムにおいて実験的に実施され、それ以降50ヶ所以上で、200回以上開催されています。本格的に行政が導入を開始したのは2000年ごろからですので、ドイツにおいて本格的に定着するのに30年以上かかったこととなります。脚光を浴びるようになったのはここ10年くらいです。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていったことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような風潮の中で、市民参加の手法の一つとして、プラヌクスツェレが注目され、現在ドイツ以外にもオーストラリア、アメリカ、イギリス、スペイン等で実施されています。

ディーネル博士はプラヌクスツェレの定義を「無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである」としています。

実際に行われた内容を踏まえ、簡単にまとめると以下の通りになります。

解決が必要な、真剣な課題に対して実施する。

参加者は住民台帳から無作為で実施する。

有償で一定期間の参加 (4日間で標準)

中立的な独立機関が実施機関となり、プログラムを決定する。

一つのプラヌクスツェレは原則25名で構成し、複数開催する。2名の進行役がつく。

専門家、利害関係者から情報提供を受ける。

毎回メンバーチェンジしながら、約5人の小グループで、参加者のみ討議を繰り返す。

「市民答申」という形で報告書を作成し、参加した市民が正式な形で委託者に渡す。

「まちづくりと新しい市民参加」篠藤明憲著 (イマジジン出版) より抜粋

1-2 市民討議会とは

新しい市民参加のかたち

市民討議会はプラヌクスツェレを参考に新しい市民参加の手法として考案されたもので、行政に対して意見を述べる機会が少ない一般の市民の方の知恵や経験、アイデア、感覚が行政の施策に反映される新しい民主主義のかたちであり、自立した市民のあり方につながるとともに、社会や国のあり方を変える1つのきっかけとなる仕組みです。

また、行政に対して積極的な参画意識をもちづらい市民が、地域や社会の問題を話し合い、その声が行政の施策に反映されるだけでなく、自分たちは何をすべきかを自ら考えることで、行動の意識付けになるものと考えられています。

市民討議会の流れ

今、行われている市民討議会は、次のような手順で行われています。

1、『無作為抽出』

住民基本台帳などの住民データから市民を無作為に抽出し、市民討議会の案内状（参加依頼書）を送付する。案内状の内容を読んで、参加しようと決めた人は承諾の返事を出す。

2、『事前情報』

開催日までは出欠の再確認がある程度で、必要に応じてテーマに沿った資料が送られてくる時もある。また、途中で参加希望者の興味が薄れないよう、情報提供の内容が決まったときなどに、その旨を知らせることもある。

3、『テーマ』

事前に知らされるのは大きなテーマだけで、細かい設問は討論の前に知らされる。

テーマの日数は知らせることもある。

4、『当日・情報提供』

テーマに興味はあっても、知識がないために参加に躊躇する人もいる。そこで、討議に入る前に行政担当者などの専門家が情報提供者として、テーマに関する基礎知識や現在の取り組みなどを参加者にレクチャーする。情報提供者は討議の方向性に影響を与えないように公平な情報を与えることが求められる。

5、『グループ』

討議時間は1テーマについて情報提供、討議、意見発表、投票の1サイクルで90分（情報提供20分、討議60分、まとめ10分）が標準。参加者は5人前後が1つのグループになり、グループごとに討議する。

5人程度の少人数で討議するのは、誰もが発言でき、しかも十分に議論し合える事からである。グループのメンバーはテーマごとに入れ替わり、同じメンバーの組み合わせにならないようにする。主催者（実行委員）が各テーブルに進行役として配置されることがあるが、進行係はグループの役割分担を決めるときに声掛けする程度で、議論の方向性に予断を与えない。本当に議論に行き詰ったときはアドバイスをするが、討論そのものには参加しない。

6、『意見集約・発表』

討論をまとめる意味で、一人一人の意見をメモにして、グループごとに大きな紙に貼り付ける。それぞれの意見についてグループごとに討議（まとめ）し、最終的に3つほどの意見に集約する。

7、『投票』

各グループの意見に対して、参加者全員が自分の賛同する意見に対して投票（シールを貼る。強く賛同する意見には複数枚貼ることができる。）する。これは、どの意見が一番いいかを決めるのではなく、市民の考え方の傾向、意識を知ることが目的で、結論を出すわけではない。報告書には意見ごとの票数が明記される。

8、『報告書の作成』

討議の結果（集約された意見や投票結果）は、報告書にまとめられ自治体首長、市議会議員、行政担当者、関係団体等に配布されるとともに、市民に公開される。

話し合いは説得ではなく合意です。

様々な年代の人々から、いろいろな意見を聞きながら、お互いを尊重し合うことで「自分たちの生活しているまちの為に」という気持ちでまとめ、共通項や合意像が浮かんでくると思います。その過程で色々なことを学ぶことができます。



第2章 小山市民討議会について

2-1 小山市民討議会2014「ウェルカムまちづくり」実施概要・経過

概要

2008年の春、一般社団法人小山青年会議所から小山市長へ、無作為抽出による新しい形の市民会議である「市民討議会」を提案し、小山市民討議会の実施に関する協定書を締結しました。一般社団法人小山青年会議所と小山市による実行委員会を組織し、開催に向けての準備を進め、2008年11月に第1回の小山市民討議会を協働開催しました。

協働のまちづくりをさらに進めるため、一昨年の討議会で多く出された意見を更に掘り下げる内容のテーマ設定を行い、昨年度は9月7日に第6回目の小山市民討議会2013「ウェルカムまちづくり」を開催しました。

「小山市民討議会」の実施に関する協定書

一般社団法人小山青年会議所（以下「小山JC」という。）と小山市（以下「市」という。）は、無作為抽出による市民がまちの課題を討議する「小山市民討議会」（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施するため、「小山市民討議会実行委員会」（以下「実行委員会」という。）を設置し、その手法の効果を検証・評価するため、次のとおり協定を締結します。

1. 協定の目的

本協定は、市民討議会の実施及びその手法の効果の検証・評価に関し、小山JCと市との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

2. 協働に関する原則

小山JCと市とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等なパートナーの関係を保つように心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係をつくります。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報の保護に配慮しながら、協働の過程や結果などの情報を公開し、市民の理解を得るように努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。

3. 実行委員会の役割

- (1) 実行委員会は、市民討議会の実施状況を市民に公開します。
- (2) 実行委員会は、テーマの情報提供に関する機関との必要な調整をします。
- (3) 実行委員会は、市民討議会の実施及びその手法の効果等の検証・評価をします。
- (4) 実行委員会は、市民討議会の内容及びその手法等について報告書にまとめ、市長へ提出します。
- (5) 実行委員会の運営については、別に定めるものとします。

4. 役割と責務

(1) 小山JCの役割と責務

ア 実行委員会への参加に関すること

小山JCは、実行委員会に委員としてメンバーを参加させます。

イ 広報活動等に関すること

小山JCは、市民討議会を広く周知するため、広報活動を行います。

ウ 個人情報の保護に関すること

小山JCは、市民討議会を実施する上で、知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、小山市個人情報保護条例に準じて個人情報の保護を行います。

エ 経費の負担に関すること

小山ＪＣは、市と協議のうえ経費の一部を負担する。

(2) 市の役割と責務

ア 実行委員会への参加に関すること

市は、実行委員会に委員として職員を参加させます。

イ 広報活動に関すること

市は、市民討議会を広く周知するため、広報活動を行います。

ウ 参加市民のリストの抽出に関すること

市は、住民基本台帳から参加市民の無作為抽出の作業をします。

エ 個人情報保護に関すること

市は、市民討議会を実施する上で、知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、小山市個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。

オ 経費の負担に関すること

市は、小山JCと協議のうえ経費の一部を負担する。

カ 報告書の検討に関すること

市は、3(4)の報告書に記載された内容について真摯に検討し、市政に活かすよう努めます。

5. 協定の有効期限

本協定は、小山ＪＣと市との合意をもって発効し、両者協議のうえ特別の定めをする場合を除き、その効力を持続するものとする。

6. その他

本協定に定めのない事項で、市民討議会を実施する上で必要と認められるものについては、小山ＪＣと市とが協議して定めるものとします。

この協定書は2007年12月11日、社団法人 小山青年会議所 理事長 栗林 亨様
小山市長 大久保 寿夫とで調印を行っております。

「小山市民討議会2014」の費用負担に関する確認書

一般社団法人小山青年会議所(以下「小山ＪＣ」という。)と小山市(以下「市」という。)は、「小山市民討議会2014」(以下「市民討議会」という。)の実施に関する費用負担について、「小山市民討議会」の実施に関する協定書(以下「協定書」という。)第4に基づき、以下の費用負担明細書とおり確認する。

費用負担明細書

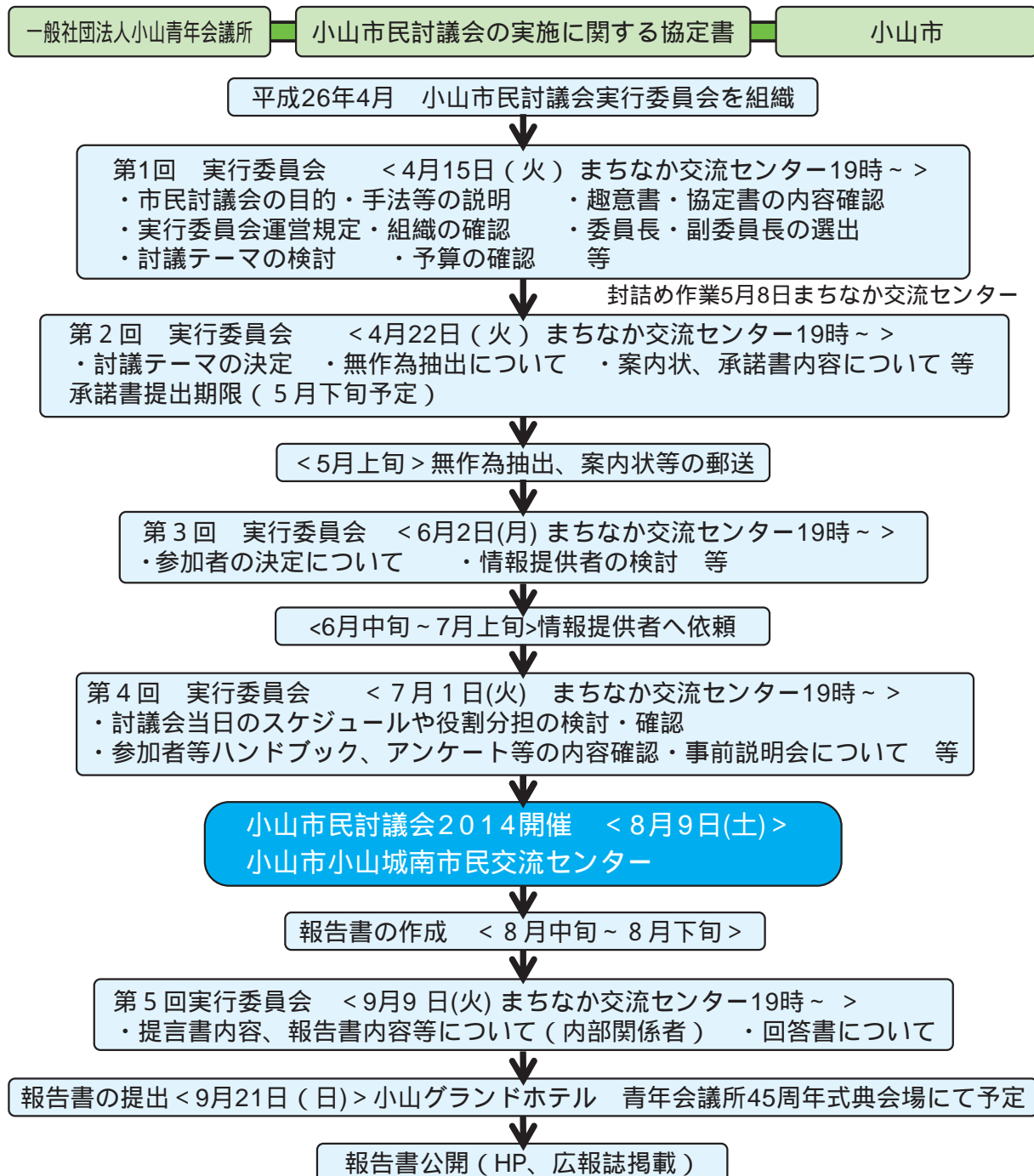
	項目	摘要	負担
開催負担金	小山ＪＣへの負担金	実施に係る費用に対する負担金	小山市
会場費	会場		小山ＪＣ
	会場設置備品	看板・討議ボード等	小山ＪＣ
講師関係費	講師等謝礼金等	情報提供者数名	小山ＪＣ
	参加者謝礼	討議参加市民数名	小山ＪＣ
	食事代	参加者飲食代	小山ＪＣ
資料作成費	実施事務局会議準備	小山ＪＣ印刷機使用料	小山ＪＣ
	報告書作成	報告書の作成、印刷	小山ＪＣ
広報費		広報小山、HPへの掲載等	小山市
通信費	郵送代	案内状送付、参加承諾書返信等	小山市
記録費	記録用消耗品	DVD-RW等購入等	小山ＪＣ
その他	雑費		小山ＪＣ
	予備費		小山ＪＣ

スケジュール

今年は、約5ヶ月前から事前準備を開始しました。実行委員会を組織し、広報に約2ヶ月、案内状の送付から参加者の決定までに約1ヶ月の時間を要しました。参加者への事前説明会は昨年同様行わず、討議の流れ等を示したマニュアルを送付することで対応しました。

討議会開催後、実施報告書の素案を作成し、中間とりまとめ兼実行委員会で討議内容の最終確認を行った上で実施報告書の印刷を行い、9月21日に実行委員長から市長へ提出しました。

市民討議会実施概要



討議テーマ

1. 大テーマ 人と企業を呼び込むまち
2. 小テーマ 討議1：結婚に興味を持たせるには
討議2：小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには

3. テーマの選定理由

以下の3点に留意しながら詳細な討議テーマの選定を行いました。

昨年、一昨年に触れていないテーマであること

昨年の市民討議会で多く出された意見を更に掘り下げる内容とすること

参加者の活発な意見交換が行われるよう、市民にとって身近で関心の高いテーマであること

2 - 2 討議方法

討議時間は1つの小テーマについて情報提供(15分)、討議(40分)、発表(40分)、投票(10分)の1サイクル105分で行い、参加者5人程度が1つのグループになり討議します。5人程度の少人数で討議するのは、誰もが発言でき、しかも十分に議論しあえる数だからです。

グループのメンバーはテーマごとのくじ引きにより入れ替わり、同じメンバーの組み合わせにならないように配慮しました。

1. 全員で情報を聞きます

テーマが発表され、討議がスムーズに行なわれるように専門家や実践者の方から、多角的な意見や現状のデータ等の情報提供がありますので、全員で聞いてください。

2. 小グループ(1グループ5人程度)に分かれて討議します

(1) 自己紹介

(2) 役割の決定: 司会、筆記係、発表者を決めます。

(3) テーマについて自由な意見交換を行ない、各自の意見を下記のような形でまとめてください。

付箋に意見を記入する際は「をする」など分かりやすく記入してください。

(伝わりにくい場合は(例)を入れる等)

グループ	テーマ
討議メンバー	山田 加藤 鈴木 佐藤 土屋
【作業スペース】	
<input type="checkbox"/> を <input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
まとめ1	投票欄
まとめ2	投票欄
まとめ3	投票欄
残しておきたい意見	

自由に話し合う

テーマについて、自由に意見交換を行ってください。

意見を出し合ったら、自分の意見を付箋に書いて討議ボードに貼ります。

意見をまとめる

話し合いながら、同じような意見を一ヶ所にまとめて行きます。(3つ位を目安に)

まとめた意見を記入してください。

残したい意見があれば記入してください。

3. 発表・投票

(1) グループごとにまとめた意見を発表します。(1グループ3分程度)

(2) 1つのテーマに対して1人5ポイントのシールを用いて同意する意見に投票します。

自分のグループ以外の意見にも投票できます。

2 - 3 参加者について

無作為抽出の方法

住民基本台帳から無作為に抽出した、20歳から45歳までの市民2,000人への参加案内状を送付し、67名の方から参加承諾をいただきました。

参加者数

今年度で第7回目を迎える市民討議会ですが、67名の参加承諾をいただきました。市民討議会2014の当日の参加者数は39名でした。

参加者への謝礼

参加者アンケートから参加者への謝礼の有無と額については、「ちょうどよい額だと思う」が82%近くあり、全体としては肯定的な意見が多く聞かれました。その他は、「ちょうどよい額だとは思わない」が5%、内、適切な額として4,000円という意見と、「報酬は必要ない」が8%近く、という意見でした。

小山市民討議会においては、参加者の方に責任ある仕事として取り組んでいただく為に、謝礼（日当と食事、飲料）を支給しています。

参加者の反応

討議をしていく中で、「各テーマに関してこれまで持っていた考えに何か変化がありましたか？」という質問に対し、「自分の考えが参加前に比べて大きく変わった」「どちらかという
と変わった」合わせて変わったという意見が61%と過半数を占め、具体的には、「結婚はいいなと思った。メンバーの話を聞かなかつたらそう思わなかつたかもしれません。」や、「市民ひとり1スポーツということで何かスポーツをしてみよう」という意見がありました。

2 - 4 広報について

ホームページ

一般社団法人小山青年会議所ホームページにおいて、討議会開催のお知らせや、討議会開催時の様子、報告書等を掲載しています。

互いのホームページ上でリンクを貼り、共同による開催であることを示しました。

各紙新聞社及び、テレビ小山放送に開催についてPRしました。討議結果については広報小山10月15日号に掲載されております。

このサイトについて・個人情報取り扱い・各課のお問い合わせ・市役所へのアクセス・開庁時間
お問い合わせ 小山市役所
〒323-8686 栃木県小山市中央町1丁目1番1号 電話:0285-23-1111(代表)

Copyright © Oyama City. All rights reserved.



第3章 情報提供と討議結果

3-1 第1回目話し合い

【テーマ】 結婚に興味を持たせるには

情報提供の内容（抜粋）

小山商工会議所 青年部 阿久津 治 氏

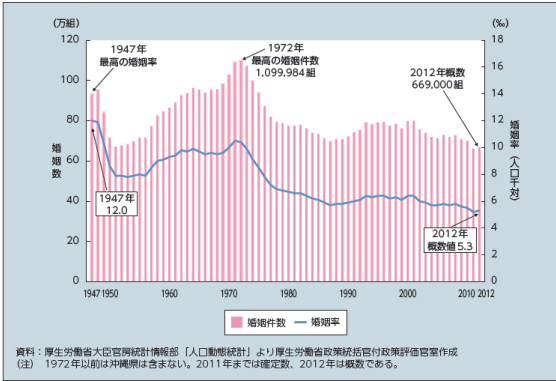
現在、我が国の結婚に関する意識

かつては皆婚規範が強く、特別な理由がない限り人生の中で結婚することが当たり前とする意識が一般的だった。しかし、近年では高い年齢に至るまで未婚に留まる人々が増え、結婚を選択的行為として捉える見方が広まっていると考えられます。また、出生する子どもの約98%が婚姻関係にある男女の嫡出子であることから、結婚年齢や生涯未婚率の上昇が、出生数に一定の影響を与えていると考えられます。若者の「結婚離れ」ともいべき現象の広がりは、若者の結婚意欲の喪失を意味しているのだろうか。また、こうした現象の背景にはどのような若者の意識があるのでしょうか？

(1)横ばいで推移する婚姻件数

少子化による若年者の減少、未婚率の上昇などを背景に我が国の婚姻件数は減少傾向にあります。直近の2012(平成24)年の婚姻数は年間約67万組で、最も多かった1972(昭和47)年の約110万組と比べると、約43万組少ない6割程度となっています。1980(昭和55)年や2000(平成12)年と比較してみると、1980年の婚姻件数は約77万組、2000年は約80万組となっており、ほぼ横ばいで推移しています。

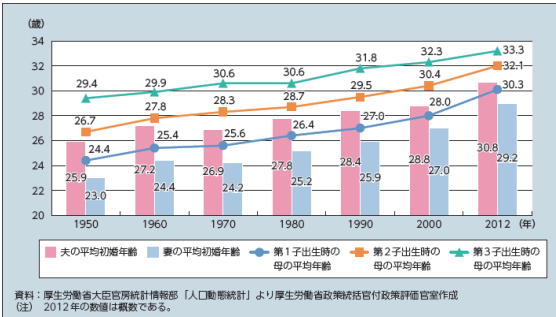
婚姻数及び婚姻率の年次推移



(2)晩婚化の進展

大学進学率の上昇、独身者の意識変化などを背景に、結婚する年齢が高くなる晩婚化が進行しています。諸外国と比較して婚外子の割合が極めて低い我が国では、晩婚化に伴って晩産化も併せて進行している。少子化の主な原因とされている晩婚化や晩産化は、半世紀以上にわたって進行していることがわかります。

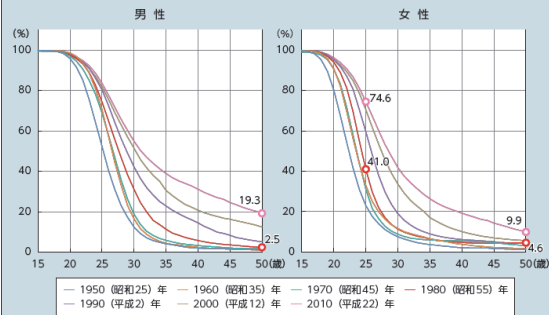
平均初婚年齢・母親平均出生時年齢推移



(3)未婚率の上昇

未婚率は15歳時点の100%から年齢が高まるほど減少していき、50歳で生涯未婚率レベルに収束します。生涯未婚率(50歳時点で一度も結婚したことのない人の割合)も2010年度、男性19.3%、女性9.9%となっており、男性で5人に1人、女性で10人に1人は生涯未婚ということになります。

年齢別未婚率の変化

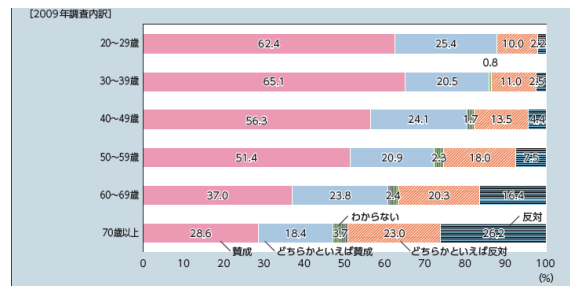
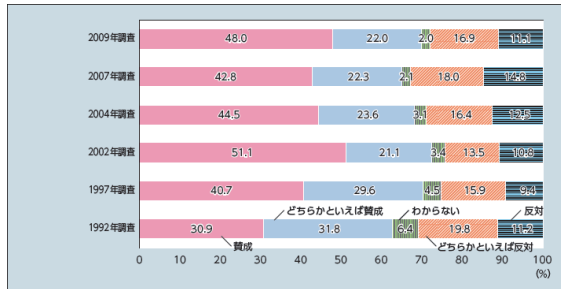


資料：総務省統計局「国勢調査」
 (注) 1. 配偶関係不詳を除いた割合。
 2. 1950～1970年は沖縄県を含まない。

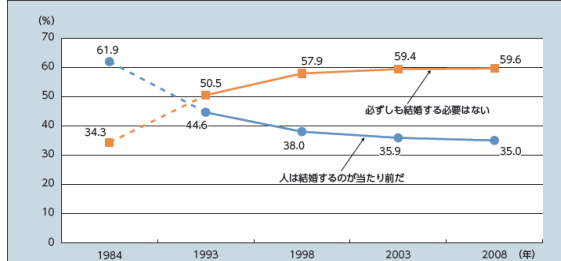
結婚の自由度は高まっている

結婚についての基本的な考え方にはどのような変化があるのでしょうか？結婚して一人前や、結婚するのが当たり前といったような社会的な圧力が弱まるとともに、結婚が家や親のためでもない個人を中心に据えたものへ変化する中で、結婚は人生の選択肢の一つとして捉えられるようになっていきます。結婚するかしないかについての自由度は高まっていると言えるでしょう。

「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方について



結婚観の推移

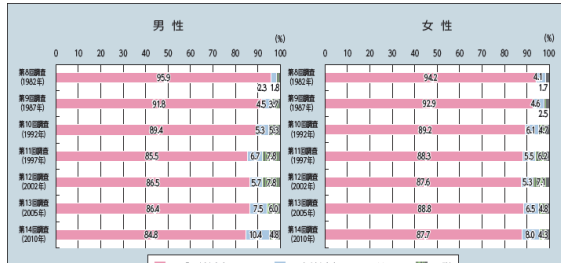


資料：1984年については、NHK「現代の家族調査」、1993～2008年までについては、NHK「日本人の意識調査」より、厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成
 (注) 「現代家族調査」(1984年)と「日本人の意識調査」(1993～2008年)では、設問が異なるため、単純に比較することには注意が必要。

若者は結婚したいと思っている

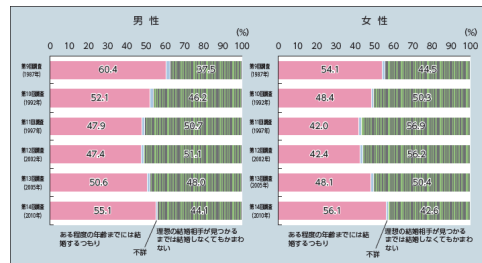
そもそも若者自身は、結婚したくないと思っているのでしょうか？「いずれは結婚しようとする未婚者の割合」は、1982(昭和57)年と比較すると男性は9.6ポイント、女性は4.8ポイント減少しているものの、9割弱で推移しており、依然として高い水準にあります。若者の結婚願望は決して低いわけではないということです。

未婚者の生涯の結婚意思



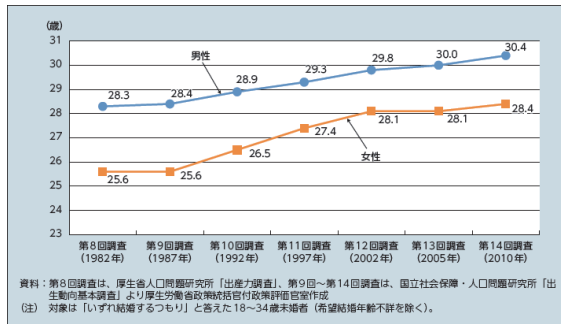
資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」および藤田(2013)より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成
 引用文献：藤田健博(2013)「30代後半を含めた近年の出生・結婚動向」ワーキングペーパーシリーズ(U)、国立社会保障・人口問題研究所
 (注) 対象は、第8回～第9回調査については18～34歳未婚者、第10回～第14回調査については「いずれ結婚するつもり」と答えた18～39歳未婚者。
 (説明) 同じく自分の一生を過ぎて考えた場合、新たな結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか？(1. ある程度の年齢までには結婚するつもり、2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても可い、3. 一生未婚で過ごすつもり、4. 結婚するつもり、5. 不詳)

結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方



資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」および藤田(2013)より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成
 引用文献：藤田健博(2013)「30代後半を含めた近年の出生・結婚動向」ワーキングペーパーシリーズ(U)、国立社会保障・人口問題研究所
 (注) 対象は、第9回調査については「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者、第10回～第14回調査については「いずれ結婚するつもり」と答えた18～39歳未婚者。
 (説明) 同じく自分の一生を過ぎて考えた場合、新たな結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか？(1. ある程度の年齢までには結婚するつもり、2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても可い、3. 一生未婚で過ごすつもり、4. 結婚するつもり、5. 不詳)

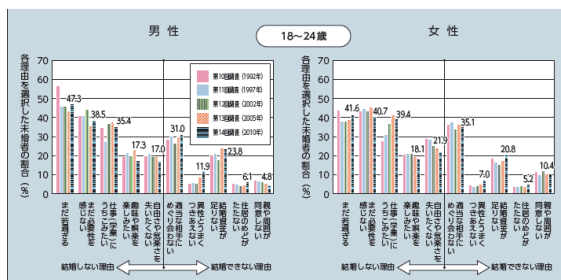
未婚者の平均希望結婚年齢の推移



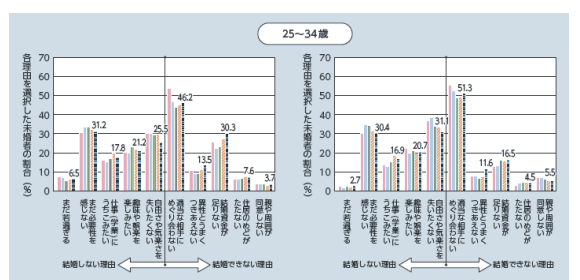
なぜ？

結婚せずに独身でいるのでしょうか

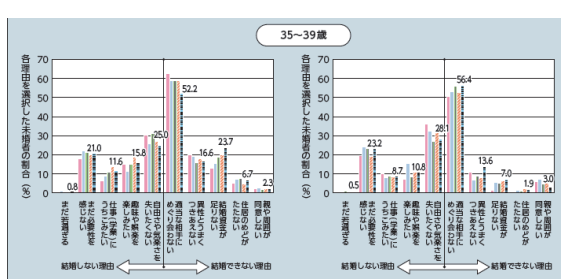
独身にとどまっている理由



独身にとどまっている理由



独身にとどまっている理由

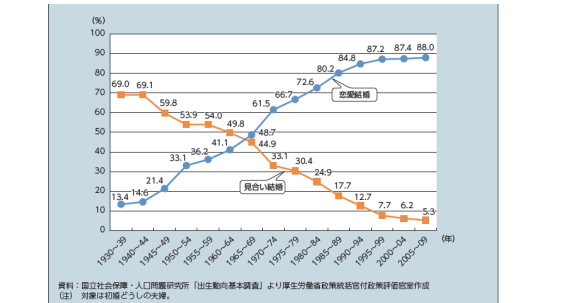


異性との交際の状況

～約半数は異性の友人がいない～

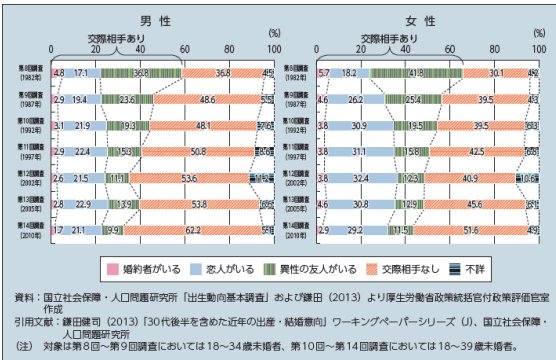
結婚できない理由のトップは「適当な相手にめぐり合わない」でした。ここでは、「適当な相手」とのめぐり合いの状況について見ていきます。我が国では戦後半世紀の間に結婚の仕方が大きく転換したことがうかがえます。戦前には約7割を占めていた見合い結婚は一貫して減少し続け、1965(昭和40)～1969(昭和44)年頃に恋愛結婚と比率が逆転しました。現在では結婚の9割近くが恋愛結婚となっており、異性との交際は結婚相手の候補者を得る前提となっていると言えます。

結婚年別にみた、恋愛結婚・見合い結婚構成の推移

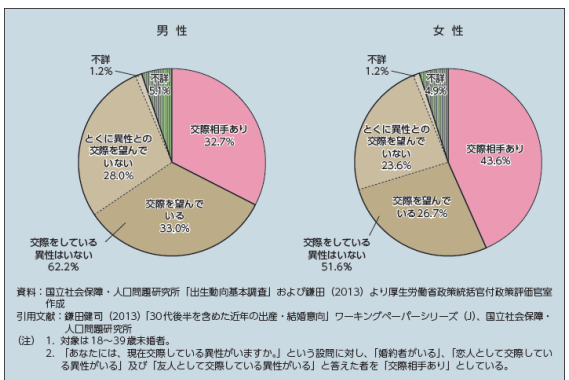


では、異性との交際状況は？

未婚者の異性との交際の状況



未婚者の異性との交際の状況(2010年)



先ほど示した通り、結婚できない理由として「異性とうまくつきあえない」ことを挙げる者の割合が増加していることも気がかりであります。かつては男女交際があまり活発ではないものの、ある程度の年齢となると職場や親戚の斡旋によって結婚相手の候補となる異性に出会える機会（お見合い）が多かった。他方、現在では男女の交際機会の増大や自由化により、個人のコミュニケーション力に依るところが大きくなっており、結果として異性の友人すなわち結婚相手の候補がない若者が増加しているものと考えられます。

交際相手を持たない20代・30代男女が恋人を欲しいと思わない理由(上位5位まで)

男性	女性
1位 自分の趣味に力を入れたい (55.7%)	1位 恋愛が面倒 (60.1%)
2位 恋愛が面倒 (52.6%)	2位 自分の趣味に力を入れたい (57.0%)
3位 仕事や勉強に力を入れたい (36.8%)	3位 仕事や勉強に力を入れたい (36.1%)
4位 異性と交際するのがこわい (14.6%)	4位 異性に興味がない (22.2%)
5位 異性に興味がない (11.7%)	5位 異性と交際するのがこわい (19.0%)

資料：内閣府「結婚・家族形成に関する調査報告書」より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成
 (注) 選択肢は「仕事や勉強に力を入れたい」「自分の趣味に力を入れたい」「友人と過ごす時間を大切にしたい」「過去に恋愛で失敗した」「恋愛が面倒」「異性に興味がない」「異性と交際するのがこわい」「その他」の計9つで、複数選択

交際相手を持たない20代・30代男女の異性と交際する上での不安(上位5位まで)

男性	女性
1位 異性に対して魅力がないのではないかと (46.0%)	1位 異性に対して魅力がないのではないかと (49.8%)
2位 異性との出会いの場所がわからない (38.8%)	2位 異性との出会いの場所がわからない (47.1%)
3位 どのように声をかけてよいかわからない (37.9%)	3位 自分が恋愛感情を抱けるか不安だ (40.3%)
4位 どうしたら恋人になれるかわからない (33.5%)	4位 どのように声をかけてよいかわからない (29.9%)
5位 恋愛交際の進め方がわからない (32.3%)	5位 恋愛交際の進め方がわからない (29.2%)

資料：内閣府「結婚・家族形成に関する調査報告書」より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成
 (注) 選択肢は「知らない異性もいるが、どのように声をかけてよいかわからない」「自分より魅力的な異性と恋人になれるかわからない」「恋愛交際の進め方がわからない」「異性との交際がなんとなく怖くて、交際に踏み切れない」「過去の失恋経験からまた異性に振られるのではないかと」「自分は異性に対して魅力がないのではないかと」「自分が恋愛感情を抱くことが出来るか不安だ」「そもそも異性との出会いの場所がわからない」「その他」の計9つで、複数選択

まとめ

近年の未婚率の上昇や、異性とうまく付き合えず結婚に至らないといった若者の増加は、結婚規範の薄まりや恋愛結婚の増加といった、いわば「結婚自由化」状況の行き詰まりとも言えます。こうした状況の背景には、若者の対人関係能力の低下だけでなく、自力で結婚相手を探さなければならなくなっている、すなわち対人関係能力の必要性が増しているという側面があるのかもしれない。さらに、現在の結婚生活は、夫婦の働き方、子どもの数、子育ての仕方など、あまりに多様であります。こうした多様な選択肢の中から、自力で理想の結婚相手を見つけることの難しさも一因と考えられます。結婚に関する社会規範が弱まる中においても、依然として若者の結婚願望は強い。結婚の実現に向けて、誰かに(何かに)背中を押してほしい、という若者の潜在的な期待が婚活イベントなどの広がり背景にあるのではないのでしょうか。

小山市の状況

平成22年に行われた、国勢調査の結果、15歳以上の男女総数13万9340人中、未婚者数は男性6万9792人中、2万2621人、その中で20歳～39歳は1万2661人。女性6万9548人中1万5113人、その中で20歳～39歳は8912人となっております。

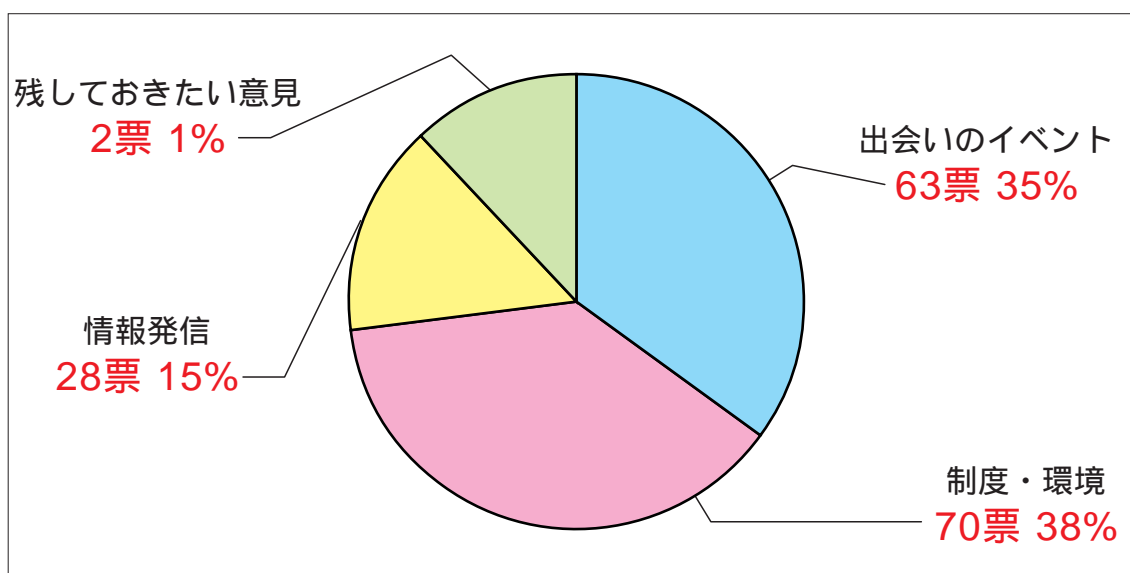
討議結果のまとめ

結婚に興味を持たせるには

- ・ 子育てしやすい地域環境の整備。(20票)
- ・ 気軽に参加できる交流会を開催する(18票)
- ・ 7月に「浴衣で納涼祭」を実施し花火大会につなげる。花火大会を軸としてインターネット等で宣伝する。また、冬には結城紬で婚活パーティーを開催する(17票)

第1回目のテーマは、『結婚に興味を持たせるためには』をテーマに話し合いが行われました。討議の結果は、子育てしやすい地域環境の整備がトップにきました。環境を整備することで、結婚に興味を持ってもらえる傾向がわかります。

また、参加できる交流会を望んでいる方が多い結果が出ました。参加しやすい交流会を企画することで、前向きになる方が多くなるということだと思います。



残したい意見

- ・ ナイナイのお見合い(TV)に応募する
- ・ 学校、教育の段階で結婚に関する情報を提供していく
- ・ 子育てに関する支援をPRする
- ・ 小山市の条例で既婚者は未婚者へ結婚の悪いイメージを言うことを禁止する
- ・ 土曜日午後の婚活パーティー
- ・ 子育てしやすい環境をつくる

分析結果

提案・意見	投票数	計	投票率
出会いのイベント			
気軽に参加できる交流会を開催する	18	63	35%
7月始めに「浴衣で納涼祭の実施」。翌週の花火大会につなげ冬に結城紬でコン活パーティ。花火大会を軸としてインターネット等で宣伝	17		
出会いの場をもっとフランクにする	11		
気軽に出会える場を提供	10		
コン活よりも気軽なイベントを開く	7		
制度・環境			
子育てしやすい地域環境の整備	20	70	38%
幅広い世代が集まるショッピングモールを作る	14		
結婚後に得られる得点を増やす	11		
出会いでゲット！！社会保障	9		
結婚しても安心して仕事を続けられる環境	5		
保育園などの利用料などの補助金を出していただく。子育ての環境を整える	4		
結婚後の生活支援	4		
結婚後の生活が不安で興味の持たない人も居ると思うので制度を充実させる	3		
情報発信			
結婚に対する不安を取り除く	6	28	15%
市から発信による出会いの場の充実	5		
良いイメージを植えつける（結婚に対して）	5		
イベント情報を周知（SNS・HP・広報等の活用）	4		
コン活パーティを行なっていることのPRを強くしてもらおう	3		
結婚に対するプラスイメージを持ってもらおう	3		
結婚のメリット・デメリット	2		
残したい意見			
ナイナイのお見合い（TV）に応募する	13	22	12%
学校、教育の段階で結婚に関する情報を提供していく	4		
子育てに関する支援をPRする	3		
小山市の条例で既婚者は未婚者へ結婚の悪いイメージを言うことを禁止する	2		
土曜日午後の婚活パーティー	0		
子育てしやすい環境をつくる	0		
合計	183	183	100%

討議シート

1グループ 結婚に興味を持たせるには？	
討議メンバー	
討議作業スペース	<p>もう少し大々的に市民に知らせる</p> <p>婚活パーティーのアピール(企業や自治会に宣伝する)</p> <p>若い人が集まりそうなイベントの開催で出会う</p> <p>婚活を掲げないイベントの開催</p> <p>イベントの宣伝力。皆が気軽に参加出来る様に</p>
	<p>趣味イベントを細かく共通の話題が出る様にただの婚活パーティーではなく分散化(サッカー・野球観戦しながら)</p> <p>自信がない人カップルになれるよう、コミュニケーションをボランティアが助けるとか。</p> <p>スポーツ名義で人を集める</p> <p>イベントの広告を打つ(コンビニなど)</p>
	<p>イベントの名前を考える</p> <p>ふるさと納税のお返しを結城つむぎを着ながら婚活パーティー参加できるとか</p> <p>「女性が働けるように」という活動が多いが「女性が安心して子育て出来るように」というのも必要</p> <p>形にとらわれずに子育てができる環境づくり</p>
	<p>自治会ごとに自治会の中の子供をもっと積極的にサポートできる体制</p> <p>施設の費用を市で負担する</p> <p>結婚することによって利点が出てくるような行政の仕組み</p> <p>幼児の施設を考える</p> <p>子育て環境を整えると結婚。不安が減ってくる</p>
	<p>「浴衣で納涼祭」などのイベントで婚活</p> <p>小山市の花火大会でパーティーをやるとか小山市が支援する</p> <p>保育園などの利用料の補助金を充実させる</p>
まとめ	7月初めに「浴衣で納涼祭」の実施。翌週の花火大会につなげ冬に結城紬で婚活パーティー。花火大会を軸としてインターネット等で宣伝。 投票欄
	保育園などの利用料の補助金を出していただく。子育ての環境を整える 投票欄
	投票欄
残しておきたい意見 投票欄	

2グループ 結婚に興味を持たせるには？	
討議メンバー	
討議作業スペース	<p>本気の相手が</p> <p>家族の歴史をつくる</p> <p>将来の夢を語り合う</p> <p>結婚してよかったこと、リストの作成と宣伝(PR)</p> <p>子供の誕生</p> <p>出会いパーティーの発信</p> <p>出会いの場</p> <p>男女問わすの食事会</p>
	<p>家賃の安いアパート</p> <p>簡単に会えるイベント</p> <p>社会福祉の充実</p> <p>居酒屋さんでの出会いの提供。カップルで行くと安くなる。</p> <p>自信がない人をプロデュースする</p> <p>居住環境の充実</p> <p>小山市が補助金成功したとき金</p>
	<p>週休3日制の会社を小山に増やしてほしい</p> <p>土曜午後の婚活パーティー</p> <p>結婚のメリット、デメリット</p> <p>週4。市からの発信による出会いの場の充実</p> <p>出会いでゲット!! 社会保障</p>
	<p> 投票欄</p>
	<p> 投票欄</p>
まとめ	出会いでゲット!! 社会保障 投票欄
	市からの発信による出会いの場の充実 投票欄
	結婚のメリット・デメリット 投票欄
残しておきたい意見 投票欄	
土曜日午後の婚活パーティー	

3グループ 結婚に興味を持たせるには？	
討議メンバー	
討議作業スペース	<p>イベント・出会い</p> <p>小山産の食べ物を使ったパーティー</p> <p>職場での出会いイベント</p> <p>ショッピングモール幅広い世代が集まる場所を作る</p> <p>仕事の安定</p> <p>結婚よりも友達作りを目的としたイベントの実施</p> <p>多(他)企業交流</p>
	<p>街コンをたくさん開催する</p> <p>婚活の内容・パーティーを変える</p> <p>市での祭り・大会等を増やす</p> <p>市でのサークル活動</p> <p>シニア世代とも交流をもち、情報集合「うちの息子あまってるのよ〜」</p> <p>婚活目的でない色々な世代が集まるイベント</p>
	<p>結婚式の見学会</p> <p>花火以外にも人が集まるイベントを増やす</p> <p>会社内に保育所を作る</p> <p>名前(見合い)の変更</p> <p>結婚した人の体験談をきく機会を設ける</p> <p>まちコン</p> <p>地域の年配の方との交流を通じて、知合いを増やす</p>
	<p>出会いイベント</p> <p>「お見合い」や「婚活」の名称をもっとカジュアルなイメージにする</p> <p>子育てに関する助成金の仕組み等をもっとPRする(若い人に分かりやすく)</p> <p>自治体のゴミ出しカレンダーのようなイベントカレンダーを作る各家庭に配布</p>
	<p>小山市のPR(特にイベント関係)を見やすくする</p> <p>広報をいろんな場所(コンビニ等)に置く</p> <p>SNSで小山市のアカウントを作り、こまめに情報を発信する</p>
まとめ	婚活よりも気軽に参加できるイベントを開く 投票欄
	イベント情報を周知(SNS、HP、広報等の活用) 投票欄
	幅広い世代が集まれるショッピングモールのような場所を作る 投票欄
残しておきたい意見 投票欄	
子育てに関する支援をPRする	

4グループ 結婚に興味を持たせるには？	
討議メンバー	
討議作業スペース	<p>共働きをしやすい職場</p> <p>職場で結婚しやすい環境づくりをする。(結婚後もはたらきやすくなるなど)</p> <p>自分の結婚につながるような家庭環境</p> <p>結婚した人の成功例(幸せなこと)が見える様にする。両親身近な人</p> <p>結婚しても女性が安心して仕事を続けられる</p>
	<p>学校教育の段階で結婚に関する情報を提供する。(自治体や国などの公的サービス)</p> <p>(結婚に対してネガティブなメンタルを持つ人へカウンセリングする。</p> <p>結婚後の支援や結婚するための支援があるとよい。</p> <p>結婚に対する魅力、支援等情報が少ない</p> <p>結婚後の生活支援(補助金)</p>
	<p>結婚に関する情報が見えるようにする。(自治体や国などの公的サービス)</p> <p>休出残業などある程度規制プライベート時間を設けて異性に興味を持つ余裕をつくる。</p> <p>出会いの場、在り方をフランクにする。</p> <p>結婚適齢期の異性と自然に交流できる場をもうける。</p>
	<p>もっと気軽に出会いの場があれば参加しやすい。</p> <p>共通の趣味の集まり。結婚はとりあえずこの次で</p> <p>婚活パーティーの場をもっと知ってもらう</p> <p>経済的な理由で結婚に興味をもてない人を少なくするために若年層の雇用対策を行う</p>
	<p> 投票欄</p>
まとめ	結婚後の生活支援 投票欄
	出会いの場を、もっとフランクにする 投票欄
	結婚しても安心して仕事を続けられる環境 投票欄
残しておきたい意見 投票欄	
学校、教育の段階で結婚に関する情報を提供していく	

5グループ 結婚に興味を持たせるには？	
討議メンバー	
討議作業スペース	<p>知人に協力してもらい出合いの場を作る</p> <p>出合いの場を与える。興味のある人と話せる機会。</p> <p>婚活パーティーと言うと重いので、名前を変えて、若い世代にも参加するように興味を持ってもらう。</p> <p>背中を押してくれる人や半強制的なイベントが必要</p> <p>住宅等の補助などの安心感</p> <p>SNS等の活用・小さなオフ会・とりあえず出会う事から</p> <p>各種イベント後に打ち上げをする。(年等で区分する)</p> <p>既婚者と未婚者との交流会を行う。結婚っていいんだというイメージを持ってもらう</p> <p>スポーツイベント(マラソン大会)を通じ出合いの場を提供する。</p> <p>市のイベントを増やす</p> <p>趣味で繋がる・出合いの場を促進</p> <p>婚活情報を広く宣伝してほしい</p> <p>興味のあることを調査し小さいイベントを多めに開く</p> <p>結婚以前の恋愛の興味を持たせる。婚活ではなく趣味から入る</p> <p>小山市の条例で既婚者は未婚者へ結婚の悪いイメージを言うことを禁止する</p> <p>学校教育で結婚は何歳までにしようか潜在意識に植えつける(将来・結婚したくなる)</p> <p>友人等の結婚像を聞き、良いイメージを植えつける</p> <p>結婚後の生活が不安で、興味を持たない人もいると思うので、制度を充実させる</p> <p>給料に不安雇用を安定したい</p> <p>結婚や恋愛のいいところアピール</p> <p>女性は環境が変わる事に楽しいイメージを持ってもらう</p> <p>職場などの先輩の力を借りる。(結婚して成功している)</p> <p>教育・医療の充実を図り安心して子育てができる</p> <p>子育てに不安、保育所等を増やしてほしい</p> <p>婚活パーティー特典付きにする。(例:結婚したら家をプレゼントする)</p>
まとめ	<p>気軽に参加できる交流会を開催する 投票欄</p> <p>良いイメージを植えつける(結婚に対しての) 投票欄</p> <p>結婚後の生活が不安で、興味を持たない人もいると思うので制度を充実させる。 投票欄</p>
残しておきたい意見	投票欄
小山市の条例で既婚者は未婚者へ結婚の悪いイメージを言うことを禁止する	

6グループ 結婚に興味を持たせるには？	
討議メンバー	
討議作業スペース	<p>あったかファミリー-家庭訪問</p> <p>子供の時から教育(結婚:男女の違いを大切に)</p> <p>テーマがある出合いの場の提供(年齢の設定など)</p> <p>結婚に対する不安を取り除くカウンセリング</p> <p>結婚体験ができる施設を作る</p> <p>子供手当を増やす</p> <p>小山市役所のホームページに出合いの広告を大きく載せる</p> <p>「婚活」や「合コン」ではなく、もっと気軽な出合いを提供する</p> <p>男性側の結婚意欲を高める</p> <p>結婚している人達が巨大バイクで食べられる特権</p> <p>趣味・興味別のイベント開催</p> <p>共通の趣味の合コン</p> <p>結婚を目的としている人達が500円-1000円のランチを食べられる施設を作る、若しくは提供する</p> <p>気軽に行ける出合いの場と地方出身者に情報提供など。地方出身者は仕事で来ている事が多く、地域のコミュニティに入りづらい。</p> <p>結婚した人たちの家賃が安くなる</p> <p>企業と市が協力し、独身者を出会わせる。</p> <p>婚活届が特別なもの。厚紙で出来たもの。結婚届けの控えが飾れるもの</p> <p>カップル向けカウンセリング(結婚・交際に向けて)</p> <p>助成金など手当てを厚くする</p> <p>気軽に、出会える場(飲食店など)を増やす。</p> <p>結婚に対する不安を取り除く</p> <p>結婚することで市から特典がもらえる</p> <p>ナインのお見合いシリーズに応募してみる?(メディアの力はデカイので、小山市の良さもアピール)</p>
まとめ	<p>気軽に出会える場を提供 投票欄</p> <p>結婚に対する不安を取り除く 投票欄</p> <p>結婚後に得られる特典を増やす 投票欄</p>
残しておきたい意見	投票欄
ナインのお見合い(TV)に応募する	

7グループ 結婚に興味を持たせるには？	
討議メンバー	
討議作業スペース	<p>結婚に対するプラスのイメージを持ってもらう。</p> <p>子育ては、楽しいという経験を年配者が話す機会を持つ。</p> <p>結婚して良かったという年配者からの経験を話してもらう。機会を持つ。</p> <p>結婚した後の2人の楽しい生活を考える。小山市で行きたい所を考え</p> <p>出合いの場をつくる。</p> <p>公共の場(公園など)の環境</p> <p>城南公園の木を切っしてほしい</p> <p>地域安全の為。</p> <p>金を稼ぐ。</p> <p>子育ての出来る環境・設備の充実</p> <p>結婚したら補助金を出す。</p> <p>保育時間(土・日・平日)朝7時から夜7時まで預かってほしい</p> <p>子育てのしやすさ安全な遊び場、親のふれあい場</p>
まとめ	<p>子育てしやすい地域環境の整備 投票欄</p> <p>婚活パーティーを行っている事のPRを強くしてもらう。 投票欄</p> <p>結婚に対するプラスイメージを持ってもらう。 投票欄</p>
残しておきたい意見	投票欄
子育てしやすい環境をつくる。	



3 - 2 第2回目話し合い

【テーマ】

小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには

情報提供の内容（抜粋）

小山市役所 生涯スポーツ課 高野健一係長 / 松井隆一主任

小山市は、スポーツが非常に盛んなまちで、競泳の萩野選手、柔道の海老沼選手、野球の成瀬選手や飯原選手など、多くのトップアスリートを輩出しています。また、小山運動公園や県立県南体育館、温水プール館など、スポーツ施設の充実にも力を入れており、多くの市民の皆様にご利用いただいております。さらに、今年は、市民が一体となってスポーツによるまちづくりを推進するために「小山市スポーツ都市宣言」を行いました。

1. 小山市のスポーツ施設及び活動の現況

(1) 小山市役所のスポーツ所管組織

小山市においてスポーツを所管する組織は、小山市教育委員会生涯スポーツ課と、さらにその外郭団体として、公益財団法人小山市体育協会があります。

生涯スポーツ課は、子どもからお年寄りまでスポーツに親しむための事業や環境を統括しており、事務所は県南体育館内にあります。具体的には、マラソン大会等のイベント開催、ニュースポーツやウォーキングの普及指導、大会出場祝金の交付、市内体育施設の管理修繕等を行っています。

特にイベントは年々増加傾向にあり、市民の皆様の多様なニーズにお答えできるよう推進しています。

体育協会は、市内39ある競技団体が、各種大会を円滑に運営できるよう補助金を交付したり、県内各市対抗の競技会に選手を派遣したり、市内の大規模なスポーツ大会を企画運営したりする業務を行っています。事務所は温水プール館内においてあり、市民の皆様が気軽にご相談いただけるようになっています。

(2) 小山市のスポーツ施設について

市内には19のスポーツ施設があり、目的に応じて利用できるようになっています。

■ 市内の公共スポーツ施設一覧

【平成25年度】

No	主な公共施設	区分	所在地	施設内容	
1	県南体育館	県 営	外城 371-1	メインアリーナ／サブアリーナ／柔道場／剣道場／トレーニング室	
2	温水プール館	県 営	外城 371-1	25m・50m プール	
3	小山運動公園	市 営	向野 187	野球場 陸上競技場 サッカー場 テニスコート ターゲットバード ゴルフ場	3 面 1 面 1 面 8 面 1 面
4	あけぼの公園	市 営	横倉新田 458	野球場 テニスコート	2 面 6 面
5	原之内公園	市 営	神鳥谷 1846-1	テニスコート	6 面
6	思川緑地	市 営	大行寺地内	野球場 陸上競技場 テニスコート ソフトボール場 サッカー場	2 面 1 面 6 面 4 面 1 面
7	石ノ上河川広場	市 営	石ノ上	サッカー場	4 面
8	弓道場	市 営	中央町 1-1-1	射的	4
9	武道館	市 営	三峯 2-1-12	柔道場 剣道場	1 面 1 面
10	勤労者体育センター	市 営	犬塚 3-1-2	バレーボール バドミントン バスケットボール 卓球	2 面 4 面 1 面 12 台
11	間々田市民交流センター	市 営	間々田 1960-1	野球場 グラウンドゴルフ場 サッカー場	2 面 1 面 1 面
12	出井グラウンド	その他	出井 1236-1	ソフトボール場	2 面
13	穂積グラウンド	その他	萩島 52-1	野球場	1 面
14	乙女寒沢グラウンド	その他	乙女 872	野球場	2 面
15	乙女グラウンド	その他	乙女 1687 地先	ソフトボール場	4 面
16	小宅グラウンド	その他	小宅 1704	野球場	1 面
17	扶桑グラウンド	その他	扶桑 3-8	ソフトボール場	1 面
18	間中グラウンド	その他	間中地内	ゲートボール場	1 面
19	川西グラウンド	その他	立木 1574	野球場	1 面

(3) 学校体育施設夜間開放の利用状況

小山市では、「学校体育施設夜間開放事業」として、学校行事等に支障がない範囲で、夜間の時間帯に限り、学校体育施設を地域に開放しています。当事業の利用状況については、平成24年度で、小学校26校、中学校11校、高校1校で開放しており、220を超える団体が利用しています。

(4) ニュースポーツ用具・器具の保有状況

ニュースポーツとは、日本において20世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツの総称です。全国では、数百種類のニュースポーツがあります。

小山市では、ニュースポーツの推進にあたり、市民への用具・器具の無料貸し出しを行っており、現在、市で保有しているニュースポーツ用具・器具は、以下の20種目です。主な利用者は、学校、公民館、地域のスポーツ愛好会などとなっています。

■ ニュースポーツ用具・器具一覧

【平成24年度】

No	スポーツ名	導入年度	保有数	No	スポーツ名	導入年度	保有数
1	インディアカ	H15	20	11	グラウンドゴルフ	H18	30
2	綱引き	H15	2	12	ダーツ	H19	5
3	ペタンク	H15	25	13	ティーボール	H19	20
4	輪投げ	H15	10	14	ソフトバレーボール	H20	14
5	長縄	H15	10	15	ディスクゴルフ	H22	10
6	動物お手玉	H15	2	16	ドッチビー	H22	80
7	ビーフピア	H15	10	17	ターゲットバードゴルフ	H23	10
8	ビーンボーリング	H15	4	18	キンボール	H23	3
9	スポーツチャンバラ	H15	30	19	ファミリーバドミントン	H24	20
10	けん玉	H15	15	20	ユニホック	H24	2

(5) スポーツイベントの開催状況

小山市が主催する主なスポーツイベントの開催状況について、平成25年度には、「おやま思川ざくらマラソン大会」をはじめ、11種類のスポーツイベントが開催されています。

■ 市内のスポーツイベント一覧

【平成25年度】

No	スポーツ名	開催月	参加者数
1	おやま思川ざくらマラソン大会（平成21年度から開催）	4月	3,199
2	小山市総合選手権競技大会（22種目）	5月～	6,300
3	県南五市対抗親善総合競技大会（19種目）	7月	311
4	小山市ラジオ体操会（平成20年度から開催）	7月	1,720
5	おやまスポーツ・レクリエーションフェア	10月	1,744
6	小山駅伝競走大会	10月	447
7	小山市フォークダンスフェスティバル	11月	527
8	おやま思川マラソン大会	12月	1,473
9	県南五市対抗親善駅伝競走大会	1月	70
10	みんなでチャレンジリレーマラソン大会	2月	299
11	県南四市対抗親善スキー大会	2月	50
合 計			16,140

(6) スポーツ教室の開催状況

スポーツ教室の開催状況について、平成24年度には、有料・無料を合わせて「水泳」、「テニス」、「スキー」などの10種目のスポーツ教室が開催されています。

■ 市内のスポーツ教室一覧

【平成24年度】

No	スポーツ教室名	日数	参加者数	1日あたりの参加者数	参加料
1	サッカー	1	400	400.0	無料
2	卓球	10	45	4.5	有料
3	水泳	60	835	139.1	有料
4	テニス	67	525	7.8	有料
5	スキー	2	131	65.5	有料
6	体操	4	67	16.8	有料
7	スケートアイスホッケー	5	83	16.6	有料
8	登山	2	77	38.5	有料
9	ターゲットバードゴルフ	4	20	5.0	有料

10	バウンドテニス	10	30	3.0	有 料
合 計		165	2,213	13.4	

(7) スポーツクラブの状況

スポーツクラブの状況について、市内には、平成24年度の時点で、「野球」、「テニス」、「バスケットボール」、「ソフトボール」など31種類のスポーツクラブがあります。

■ 市内の種別スポーツクラブ一覧

【平成24年度】

No	種 別	クラブ数	人 数	1クラブあたりの人数
1	野球	102	1,320	12.9
2	テニス	81	899	11.1
3	バスケットボール	68	800	11.8
4	ソフトボール	56	1,165	20.8
5	ソフトバレーボール	55	441	8.0
6	バドミントン	25	410	16.4
7	サッカー	22	300	13.6
8	ダンス	21	290	13.8
9	バレーボール	20	244	12.2
10	剣道	14	207	14.8
11	ソフトテニス	14	200	14.3
12	ラージボール卓球	10	113	11.3
13	ゲートボール	8	105	13.1
14	ゴルフ	7	200	28.6
15	陸上競技	7	130	18.6
16	柔道	6	43	7.2
17	スキー	5	116	23.2
18	卓球	4	92	23.0
19	空手道	4	150	37.5
20	水泳	4	133	33.3
21	合気道	2	29	14.5
22	グラウンドゴルフ	1	510	510.0
23	弓道	1	40	40.0
24	ターゲットバードゴルフ	1	38	38.0
25	バウンドテニス	1	54	54.0
26	体操	1	48	48.0
27	射撃	1	32	32.0
28	ウェイトリフティング	1	100	100.0
29	セーリング	1	10	10.0
30	サイクリング	1	32	32.0
31	少林寺	1	35	35.0
合 計		545	8,286	15.2

2. 小山市民のスポーツに関する実践の現状

小山市では平成26年3月に「小山市スポーツ立市進行計画」を策定しました。計画の策定にあたり、基礎となる市民の運動実践に関する現状を捉えるため、「小山市民のスポーツ実践に関する基礎調査」を実施しました。調査時期は、平成25年7月16日（日）から8月9日（金）で、住民基本台帳に基づく層化無作為抽出により2,500名を抽出し、郵送法による配付・回収を行った結果、660部（回収率26.4%）の有効回答を得ました。

(1) 運動やスポーツ実施の現状

市民のスポーツ実施は道路や公園を含めた施設を中心に、「散歩・ウォーキング」が最も多い結果が得られました。

- ①「自宅（屋内・屋外）や近隣の道路・公園などで行う運動」の実施率が最も高く51.5%に達します。これに対して「クラブやサークルに参加して行う運動」や「教室やレッスン等のプログラムに参加して行う運動」、さらには「大会やイベントなど単発的な行事に参加して行う運動」の実施率は10%前後であり、市民のスポーツ実施はクラブやプログラムよりも道路や公園も含めた施設を中心に成立しています。
- ②「週1日以上の実施者」の割合は53.7%と過半数に達し、その平均実施日数は3.55日/週。一方で1年間に全く運動を行っていない「未実施者」も35.9%存在します。
- ③実施頻度は「少し減っている」が35.8%であり、約6割が「減っている」との認識です。頻度を高めることについては19.9%が「非常に思う」、54.2%が「少しは思う」と、全体の74.1%が「高めたい」と思っています。
- ④現在行っている運動・スポーツの内容や種目は「散歩・ウォーキング」が最も多く40.5%、次いで「体操」が17.6%、「ゴルフ」が14.4%、「ジムなどでの筋力トレーニング」が12.5%、「ジョギング・ランニング等」が11.6%、「水泳等」が10.2%と、これら6つの内容が10%以上の実施率を示しています。

(2) 運動やスポーツの実施理由と抵抗条件

「健康維持」が最も多く、「仕事や家事が忙しい」ことが抵抗条件となっています。

- ①運動やスポーツを実施している理由を4点満点で得点化した平均値では、「健康を維持したい」が3.55点で最も高くなっています。以下、「体力を向上させたい」が3.22点、「気分転換やストレス解消」が2.99点、「運動・スポーツ自体が好き」が2.73点と続いています。仲間との交流や競技的な目的に関する項目の得点は低く、これらを理由にあげる人は少なくなっていることがわかります。
- ②反対に、運動やスポーツを行わない人の抵抗条件（行わない理由）では、「仕事や家事・育児などが忙しく、現在は行うことが難しい」が56.5%で群を抜いています。次いで「運動やスポーツを行いたいとは思わない」が18.7%で続き、この2つを合わせて全体の75.2%が個人的な理由を抵抗条件としてあげています。

(3) 地域スポーツの環境への期待

「施設が自宅の近くにあること」や「無料で利用できる施設があること」が高くなっています。

- ①期待する地域スポーツの環境について4点満点で得点化した平均値では、「施設が自宅の近所にあること」が最も高く3.38点となっています。以下、「無料で利用できる施設があること」が2.94点、「健康づくりや交流を楽しむためのプログラムがあること」が2.80点と続いています。この他、スポーツに関する情報提供や用具の貸し出し、多様なクラブや気軽に使える施設、じっくりと取り組める教室などへの期待があります。一方で、本格的なプログラムや指導者、競

技的なクラブに対する期待は高くありません。

- ②今後行いたいと思う運動・スポーツの内容や種目では「水泳等」が最も高い割合を示し、31.3%となっており、「テニス」が17.9%と回答率の高さが目立ちます。以下は、現在行っているものと類似した軽運動やゴルフ、登山（ハイキング）等が続いています。

（４）スポーツとの多様な関わり

「する」「見る」「ささえる」の３形態の中で、「ささえる」の実施率や実施意向が低い傾向が見られました。

- ①ささえるスポーツの実施率は7.4%、みるスポーツの実施率は35.6%。するスポーツの64.7%に比べて低くなっています。
- ②ささえるスポーツの内容は「審判・競技役員」と「行事・大会・イベント等の運営スタッフ」が共に37.5%。次いで、「地域クラブの運営スタッフ」が32.5%、「指導・コーチ」が22.5%となっています。
- ③ささえるスポーツの今後の実施意向では、「是非行いたい」はわずか2.4%となっています。「機会があれば行いたい」が39.3%を占めるものの、58.3%は「行いたいとは思わない」と考えています。
- ④みるスポーツの内訳としては、「プロ野球」が観戦者の31.3%、「サッカー」が25.9%、「高校野球」が24.1%となっています。分母を全調査対象者に広げると、最も観戦率の高い「プロ野球」でも11.1%であり、それ以下は全て10%未満という状況です。観戦者の平均観戦回数は4.14回／年となっています。

（５）地域社会に対する考え方

市民が積極的に行政サービスに関わる「新しい公共」や、「総合型地域スポーツクラブ」の認知度が低いことが伺えました。

- ①「総合型地域スポーツクラブ」について「よく知っている」と回答した割合は1.4%、「聞いたことはない」が88.8%を占めています。「新しい公共」の認知度では「よく知っている」が0.3%、93.6%が「聞いたことはない」としています。
- ②現在居住している地域の特徴や地域社会に対する意識について4点満点で得点化した平均値では、「住民は協力して、地域を住みやすくするように心がけるべきだと思う」が3.19点と最も高く、「熱心な住民や行政に任せておけば、地域を良くしてくれるだろうと思う」が2.11点と反対に最も低いことから、意識は決して低くありません。その他個別の項目からは、安心して暮らすことができこれからも住み続けたいと思える地域ではありますが、住民どうしのつながりや地域の活気は十分であるとは考えておらず、結果として、住みやすい地域にするような取り組みや自身が役に立つことの必要性を感じている、といった市民意識の現状が読み取れます。

3. 小山市の主なスポーツ大会・イベント（平成26年度）

新規事業（○印はスポーツ都市宣言記念事業）

	名称	時期	場所
①	釜本邦茂子どもサッカー教室	8月2日	小山運動公園
②	第1回小山市長杯争奪関東中学硬式野球大会	8月23・24・30日	小山運動公園他
③	第66回全日本学生新体操選手権大会	8月25日～29日	県南体育館
4	ねんりんピック栃木2014	10月4日～6日	県南体育館 温水プール館
⑤	少年柔道育成会杯第11回少年柔道体重別大会	10月25日・26日	県南体育館
⑥	2014 ツール・ド・おやま	11月8日	小山総合公園発着
7	小山市体育協会創立60周年記念市民体育祭	11月3日	思川緑地

主な継続事業

	名称	時期	場所
1	第51回小山市総合競技選手権大会	4月～27年3月	市内
2	第6回おやま思川ざくらマラソン大会	4月13日	小山総合公園～思川桜並木堤防～しらすぎ館
3	みんなで歩け歩け運動	毎月	小山駅周辺他
4	体力テスト	5月15日・17日	県南体育館
5	親子で遊ぶ家庭の日	5月18日	小山総合公園
6	小山市シニアハイキング	5月29日	群馬県谷川岳
7	第68回県南五市対抗親善総合競技大会	6月～7月	足利市
8	第8回小山市ラジオ体操会	7月19日	小山総合公園
9	2014 おやまスポレクフェア	10月13日	県南体育館
10	第58回小山駅伝競走大会	10月18日	小山運動公園
11	栃木県民スポーツ大会中央大会	10月～11月	県総合運動公園他
12	第2回小山市フォークダンスフェスティバル	11月30日	県南体育館
13	第37回おやま思川マラソン大会	12月14日	小山総合公園～間中地区
14	第65回県南五市対抗親善駅伝競走大会	1月12日	小山市～足利市
15	第56回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会	1月25日	県庁～栃木市往復
16	第62回県南四市対抗親善スキー大会	2月15日・16日	佐野市当番

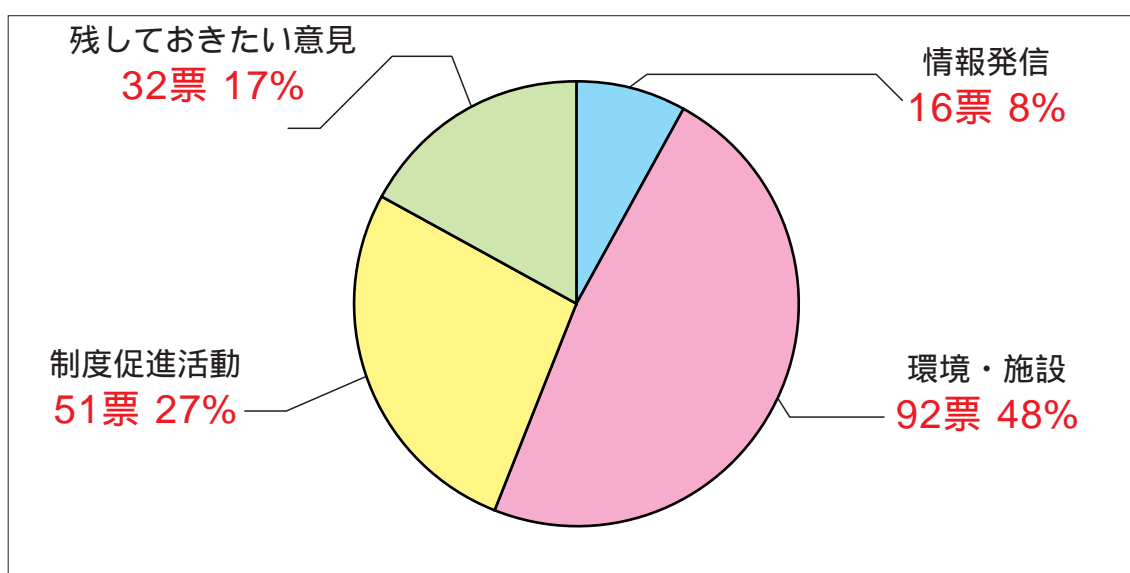
討議結果のまとめ

小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？

- ・ 施設の充実・小山ドームなど。(26票)
- ・ 夜間でも安全にウォーキングやランニングできる環境を用意する。(20票)
- ・ 月3,000円程度で利用できる託児所付きのスポーツジムを市が運営する(13票)

第2回目のテーマは『小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには』をテーマに討議が行われました。討議の結果は施設、環境の整備などの意見が多く出ました。

参加者は、環境が整ってれば何かスポーツを始めたいという傾向が出ていると思います。



残したい意見

- ・ 生涯スポーツ課に有名なスポーツ選手を採用する
- ・ 見るだけではわからないので体験できる場を作る
- ・ 団体やクラブへの手当、施設までの無料送迎カリビアンビーチ、小山でSASUKEを、他県の選手を泊める無料宿泊施設
- ・ 夜のラジオ体操
- ・ スポーツ施設等をテレビで紹介してほしい
- ・ スポーツ推進の為に、コーディネーターが必要。ウッドチップの公園とウォーキングロードが欲しい
- ・ 小山市で、月3000円くらい(託児所込みのスポーツジム)

提案・意見	投票数	計	投票率
情報発信			
ニューススポーツの紹介	4	16	8%
スポールの範囲を広げて告知する	4		
スポーツの情報を収集できる場所をつくる（HP）	3		
小山市で誰でもわかる様に情報発信してほしい	3		
スポーツ施設やイベントの発信	2		
環境・施設			
施設の充実 小山ドームなど	26	92	48%
夜間でも安全にウォーキングやランニングできる環境を用意する	20		
小山市でスポーツデーを設定し市民が低料金で使用できるようにその日は残業なしの託児無料になるとよい	10		
子供がいてもスポーツできる環境を整えて欲しい	8		
企業と協力して、企業の厚生施設を開放してもらおう	8		
小山市民限定の割引システム	7		
スポールにかかるお金の環境を整えて欲しい	7		
施設料金サークル等の明確化（各家庭に冊子を配布する等）	6		
制度促進活動			
学生の頃やっていたスポーツの呼び戻し	11	51	27%
有名選手を呼んでイベントをする	10		
教室の時間帯を工夫して募集要項に新規枠とリピーター枠を作ってまぐちを広げる	9		
海外の姉妹都市のスポーツ等、小山市でひとつのスポーツを推進する	7		
自分にあったスポーツを発見してもらおう	5		
初心者でも安心して参加できるようにする（各サークル等のレベルの明確化）	5		
プロ選手とのふれあいの機会	4		
学校や会社を巻き込んで参加する	0		
残したい意見			
生涯スポーツ課に有名なスポーツ選手を採用する	3	32	17%
見るだけではわからないので体験できる場を作る	8		
団体やクラブへの手当、施設までの無料送迎カリビアンビーチ、小山でSASUKEを、他県の選手を泊める無料宿泊施設	3		
夜のラジオ体操	0		
スポーツ施設等をテレビで紹介してほしい	4		
スポーツ推進の為に、コーディネーターが必要。ウッドチップの公園とウォーキングロードが欲しい	1		
小山市で、月3000円ぐらい（託児所込みのスポーツジム）	13		
合計	191		

討議シート

1グループ	小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？	
討議メンバー		
討議作業スペース	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">有名チームを作る</div> <div style="width: 33%;">県南のジムやブールの利用料金を安くする！もっと言うと</div> <div style="width: 33%;">姉妹都市(ケアンズ)でのスポーツを紹介し合う。スポーツでの交流を盛んにする</div> <div style="width: 33%;">企業にプロの実業団チームを作ってもらおう</div> <div style="width: 33%;">利用設備をすべて新しいものにする(古い新しいで選ぶ人もいる)</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">スポーツ用品を買う時に、市民だと安く買える</div> <div style="width: 33%;">市役所が宣伝力情報をもっと出す！</div> <div style="width: 33%;">小山市が一つスポーツを推進する</div> <div style="width: 33%;">プロのゲームを小山市民は割引でみれると嬉しい。サインを買えたり特典があると良い</div> <div style="width: 33%;">既にあるスポーツチームが直接触れ合い会や宣伝を行う</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">婚活スポーツ大会</div> <div style="width: 33%;">公共のスポーツ施設が市内から遠いので、無料バスを走らせる</div> <div style="width: 33%;">情報発信</div> <div style="width: 33%;">スーパーアリーナを作る</div> <div style="width: 33%;">ウォーキングのできる遊歩道をすこく広げる</div> <div style="width: 33%;">自治会で声かけする</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">たくさんの観客が入る様な施設。スポーツに興味が無い様な人が来れる様</div> <div style="width: 33%;">生涯スポーツ課にメジャーなスポーツ選手OBを採用</div> <div style="width: 33%;">メジャーなスポーツイベント。人を呼ぶ・行う</div> <div style="width: 33%;">婚活マラソン大会</div> <div style="width: 33%;">姉妹都市の海外の珍しいスポーツを市民でやる</div> </div>	
各町内会でのスポーツイベントを増やす	学生時代から教育に取り入れる	無料のスポーツイベントをやる
まとめ	スポーツ施設やイベントの情報発信	投票欄
	小山市民限定の特典や割引システム	投票欄
	海外の姉妹都市のスポーツ等、小山市で一つのスポーツを推進する	投票欄
残しておきたい意見	投票欄 生涯スポーツ課に有名なスポーツ選手を採用する	

2グループ	小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？	
討議メンバー		
討議作業スペース	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">公共スポーツ施設を充実(競技が備わっている)</div> <div style="width: 33%;">施設使用状況が見える化</div> <div style="width: 33%;">クラブ活動の紹介</div> <div style="width: 33%;">中学校の部活動に参加できるようにする</div> <div style="width: 33%;">反強制的にやる</div> <div style="width: 33%;">会社で参加</div> <div style="width: 33%;">パンフレット、友達連れて参加</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">小山ケーブルテレビなどで大会を放送して関心を持ってもらう</div> <div style="width: 33%;">ニューススポーツのブロモーション(人が集まるところで、体験できるようにしてみる)</div> <div style="width: 33%;">ニューススポーツをもっと広める</div> <div style="width: 33%;">ニューススポーツを増やす</div> <div style="width: 33%;">ニューススポーツの内容を紹介する、周知する</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">気軽にできるスポーツの紹介</div> <div style="width: 33%;">スポーツのハードルを下げる</div> <div style="width: 33%;">ホームページでスポーツ検索経験値等をアンケートしていく</div> <div style="width: 33%;">動画が見られる</div> <div style="width: 33%;">体験イベント</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">気楽にできるスポーツの紹介</div> <div style="width: 33%;">スポーツのハードルを下げる</div> <div style="width: 33%;">ホームページでスポーツ検索経験値等をアンケートしていく</div> <div style="width: 33%;">動画が見られる</div> <div style="width: 33%;">体験イベント</div> </div>	
まとめ	ニューススポーツの紹介	投票欄
	スポーツの情報を収集できる場所を作る(HP)	投票欄
	学校や会社を巻き込んで参加する	投票欄
残しておきたい意見	投票欄 見るだけではわからないので体験できる場を作る	

3グループ	小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？				
討議メンバー					
討議作業スペース	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">プロ選手に来てもらう</div> <div style="width: 33%;">プロの大会を小山市で行い、スポーツ熱を高める</div> <div style="width: 33%;">マラソン大会でのコースを変えてほしい(4月のも12月のも煙道を走るだけでつまらない)普段走れないところを走りたい</div> <div style="width: 33%;">手当を出してほしい</div> <div style="width: 33%;">スポーツ以外のこと、音楽、芸術もプラスしてほしいのでは？</div> </div>				
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">イベント時に有名人を呼んでみる。小山市出身の人でもOK(とりあえずスポーツの場に触れ合ってもらおう)</div> <div style="width: 33%;">スポーツの有名人を呼んで、交流会やらちょっとしたものをやったらいい</div> <div style="width: 33%;">体験チケット・観戦チケットの配布</div> <div style="width: 33%;">家庭の用事で送迎ができない。バスで無料送迎してほしい</div> <div style="width: 33%;">スポーツをする場所を増やす</div> </div>				
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">練習試合に来た人たを無料で宿泊させる施設がほしい</div> <div style="width: 33%;">施設・体育館を作してほしい</div> <div style="width: 33%;">個人で使える施設の案内をもっとしてほしい(使える日時、できるスポーツ、連絡先等)</div> <div style="width: 33%;">チャートなどで自分に合ったスポーツを見つけやすくする</div> <div style="width: 33%;">幼いころからスポーツをはじめらる環境(クラブの募集の窓口を大きくする)</div> </div>				
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">県南体育館に市民が集中しすぎなので、ほかの公園などにも魅力を感じるようなものがあればいい</div> <div style="width: 33%;">健康診断時、スポーツ適性診断を実施し、個人に向いているスポーツをお勧めする</div> <div style="width: 33%;">スポーツテストや健康診断の結果から自分に合うスポーツを見つけ出す</div> <div style="width: 33%;">幼いころからやらせる</div> <div style="width: 33%;">自分に合ったスポーツを見つける</div> </div>				
幼児教育でいろんなスポーツをかじらせて適性を見る	"SASUKE"小山市でやる(テレビの)	桐生のカリビアンビーチ(ゴミ処理場での熱を利用したプール)	スポーツ団体クラブに対しての手当が少なすぎる	小山市で科学的根拠でやるスポーツを決めてほしい(小さい子供に)	宿舎が必要
まとめ	施設の充実 小山ドームなど	投票欄			
	自分に合ったスポーツを発見してもらう	投票欄			
	プロの選手との触れ合いの機会	投票欄			
残しておきたい意見	投票欄 団体やクラブへの手当、施設までの無料送迎 カリビアンビーチ、小山でSASUKEを、他県の選手を泊める無料宿泊施設				

4グループ	小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？	
討議メンバー		
討議作業スペース	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">スポーツの範囲を広げる</div> <div style="width: 33%;">(市民ひとり1スポーツ)というテーマとともにスポーツを広くアピール</div> <div style="width: 33%;">学生の頃やっていたスポーツへの呼び戻し</div> <div style="width: 33%;">夜のラジオ体操</div> <div style="width: 33%;">地域の施設の開放</div> <div style="width: 33%;">健康を考える</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">スポーツの出来る施設の情報の周知</div> <div style="width: 33%;">夜でも安全にウォーキングやランニングのできる環境</div> <div style="width: 33%;">簡単にスタートできる運動から(ランニング、ウォーキング)</div> <div style="width: 33%;">・体を動かしたい ・上手になりたい 階層別のスポーツクラブ</div> <div style="width: 33%;">未経験者でも始めやすい環境</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">夜間に無料で運動できる場所を用意する</div> <div style="width: 33%;">夜間でも出来る(使用できる)施設づくり</div> </div>	
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">夜間に無料で運動できる場所を用意する</div> <div style="width: 33%;">夜間でも出来る(使用できる)施設づくり</div> </div>	
まとめ	スポーツの範囲を広げて告知する	投票欄
	夜間でも安全にウォーキングやランニング等の運動のできる環境を用意する	投票欄
	学生の頃やっていたスポーツへの呼び戻し	投票欄
残しておきたい意見	投票欄 夜のラジオ体操	

5グループ		小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？	
討議メンバー			
討議作業スペース	企業の運動施設は使用していないが多いので企業も市に協力して使用できるようにしてほしい。知らせてほしい	教室の時間帯が昼とか平日の夜とかいきづらい	託児所の併設
	無料化や低料金の施設を増やす	公共のスポーツ教室とかリピーターの人の枠を用意してほしい	
	無料化や低料金の施設を増やす	公共のスポーツ施設や教室の知らせがわかりにくい。知らない事が多い	
	新規種とリピーター枠と常連ばかりにならないように	スポーツ教室が充実すれば婚活にも繋がる出会いになる	子供を預けられないと親は参加できない
	スポーツはやりたいけど仕事で参加できないので企業と一緒に企画して参加できるようにしてほしい	小山市のスポーツ月間などで市で企画して利用できる施設	施設方法とわかる方法が少ない
人気のスポーツとかに集中して人数のバランスが悪い	ウッドチップの公園とかウォーキングロードを作してほしい。家族全員で参加したい	公共のスポーツ教室とか新規の枠がほしい	
まとめ	小山市でスポーツデーを設定し、市民が低料金でできるようにその日は残業なしの託児無料になるとよい	投票欄	
	教室の時間帯を工夫して募集要項に新規種とリピーター枠を作って、間口を広げる	投票欄	
	企業と協力して、企業の構成施設を開放してもらおう	投票欄	
残しておきたい意見	スポーツ推進の為に、コーディネーターが必要。ウッドチップの公園とウォーキングロードが欲しい		投票欄

6グループ		小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？	
討議メンバー			
討議作業スペース	インフラ整備。施設へのバス運行を増やしてほしい	きつくない	市が主体でどこで何をやっているか教えてほしい
	初心者でも気軽にできる情報が欲しい	情報発信をもっと広げたい	マラソンロード・サイクリングロードの整備をしてほしい
	利用料金を安くしてほしい(施設や参加の費用)	予約の仕方が解らない	広報を若者でも読んで楽しいものにする(すぐ捨ててます)
	宣伝方法の見直しを行ってほしい	アナログでの情報提供をしてほしい	マラソン大会を一つに絞って長距離フルマラソンにする
	ワールドカップがあったらパブリックビューイング等をしてほしい	小山市でスポーツジムを運営して月3000円くらいで	施設に行くまでのアクセスがあまり整っていない
子供と一緒にできるのがいい(子供に時間を取られて出来ない)	土日に子供を預けられる場所を格安で...その間にスポーツする	自分の体力を知る。思った以上に体力が低下している	運動レベルに合わせたスポーツイベントを開催する
まとめ	小山市でだれでもわかるように情報発信して欲しい	投票欄	
	スポーツをするのにかかるお金の環境を整えてほしい	投票欄	
	子供がいてもスポーツができるような環境を整えてほしい	投票欄	
残しておきたい意見	小山市で、月3000円くらい(託児所込みのスポーツジム)		投票欄

7グループ		小山市で市民ひとり1スポーツを推進するためには？		
討議メンバー				
討議作業スペース	(おやまと特産)賞品や免税など大会優勝者や参加者に(小山市民限定)	小中学校の段階でスポーツの楽しさやメリットを教える。(特に楽しい事)	スポーツに興味がない人に、スポーツと用具や器具の案内。	
	「ニュースポーツ」についてもっと紹介していく。	わかりやすい宣伝をする。もっと周知する。	初心者でも安心して参加できるように明確にする。	
	スポーツの習慣が無い人に参加させる気軽なイベント。	大会を多く開く。フリー参加あり。	初心者でもOKかどうか資料で明確にする。(ハードルを下げるため)	国や県と協力して市民1スポーツを推進
	利用料金のやすさを周知する。	広報以外で宣伝する(テレビ、1家庭に1冊資料配布)	テレビでスポーツを放送する。	宣伝広告を出す。
	部員を募集しているスポーツサークル一覧の公表 Web site紙など		施設、料金の明確化、ルールブック等(施設の概要が分かる様にする)	
まとめ	施設、料金、サークル等の明確化(各家庭に冊誌を配布する等)	投票欄		
	有名選手を呼んでイベントをする	投票欄		
	初心者でも安心して参加できるようにする(各サークル等のレベルの明確化)	投票欄		
残しておきたい意見	スポーツ施設等をテレビで紹介してほしい。		投票欄	





第4章 小山市民討議会の検証

4 - 1 小山市民討議会実施後の取り組み

報告書の作成、提出

討議会の実施から報告書の作成を行いました。報告書の作成に際して注意した点

- 討議会の内容を形にすること
- 市民に分かりやすく、見やすいこと
- 実行委員会の作為が入らないこと

上記三点に対して、討議会での話し合いや投票の結果を参加者の意見としてどのようにまとめるか苦心しました。

アンケート資料を使って、客観的に分析することで、この報告書を充実させる内容としました。

9月21日に大久保市長へ提言書と報告書を手渡しさせていただきます。報告書を市に提出する目的は、普段行政に対して意見を述べる機会の少ない市民たちの、生活する上で生まれる知識やアイデア、感覚を行政の政策立案に反映させることにあります。

事後のフォロー

討議参加者は、報告書を提出した後の小山市の対応について、当然大きな関心を持っていると思います。

報告書が具体的にどのような形で反映されるか実行委員会が引き続き見守っていきたいと思います。

4 - 2 アンケート調査の結果について

1. 参加者アンケート集計結果

質問1 性別・年齢をお聞かせください。

性別

1	男性	19名
2	女性	20名

年齢

1	20代	8名
2	30代	24名
3	40代	6名

質問2 今回のような無作為（ランダム）抽出の市民の皆様に依頼文をお送りし、参加者を募る方法についてどのようにお考えですか？

1	多くの市民が参加の機会を得られて、良いことだと思う	37名
2	関心のない市民にも案内が届くので効果的ではないと思う	1名
3	その他	3名

質問3 小山市にお住まいの年数についてお伺いします。

1	5年未満	6名
2	10年未満	6名
3	20年未満	4名
4	20年以上	23名

質問4-1 一日間という開催についてどのように感じられましたか？

1	長い	5名
2	ちょうどよい	34名
3	短い	0名

質問4-2 「長い」あるいは「短い」とお答えになった方にお尋ねします。
 ちょうどよい時間はどれくらいであると考えますか？

長い	1日、4時間	1名
	半日	2名
	1日、3～4時間	1名
	2日、3時間ずつ	1名
短い	なし	名

質問5 今回の市民討議会は土曜日の日中に開催しました。
 曜日と時間帯について、どのようにお感じになりましたか？

1	曜日について・・・週末がよい	25名
2	曜日について・・・平日がよい	1名
3	曜日について・・・どちらでもよい	12名
4	曜日について・・・無回答	1名
1	時間帯について・・・日中がよい	29名
2	時間帯について・・・夜がよい	1名
3	時間帯について・・・どちらでもよい	9名
4	時間帯について・・・無回答	0名

質問6 今回の市民討議会の報酬とその額についてどのようにお感じになりましたか？

1	ちょうどよい額だと思う	32名
2	ちょうどよい額だと思わない ・5,000円 ・1～2,000円（足代） ・現金ではなく金券 ・特産品など市の活性化につながるもの	2名
3	報酬は必要ない	3名
4	今回とは違う方法での報酬がよい	3名
5	無回答	0名

質問7-1 1回目のテーマは討議を進める上で適切だったとお感じになりましたか？

1	適切だった	27名
2	適切ではなかった	9名
3	無回答	3名

質問7-2 適切だったと思う理由は？

<ul style="list-style-type: none">・人口を増やす、健康を増進するという店では人と企業を呼び込む...といえなくもないですが・小山市だけでなく日本全国としても重要な問題だと思ったから。・出会いや結婚のあり方について考えられた・自分にとっても気になる話題の為・結婚 出産という流れが深く根付いている中、少子化対策のためにも必要なテーマだと思う。・少子化・知らない情報が得られた・自分自身の問題でもあり、誰もが分かる内容・難しいテーマだったが、今後を考えて良いと思う

質問7-3 適切ではなかったと思う理由は？

<ul style="list-style-type: none">・思っていたテーマと違った為・既婚者はピンとこない。また個人の問題でもある。・興味を持っているのは分かっていたので...・結婚した後の事が大事なので結婚が目的みたいであまり意味が無く思えた。・プライバシーの問題、個人情報を共有してしまう・あまりに個人的なテーマでないですか？・大テーマから予想のつかないテーマだった事と、参加者にもっと若い方がいても良かったと思う。偏っていた印象がある。・本題テーマとすこし違うように思った・小山市と婚活がうまく結びつかなかった・多くの方が考えやすいテーマだと思わない・少子化を問題にするならもっとストレートに

質問7-4 2回目のテーマは討議を進める上で適切だったとお感じになりましたか？

1	適切だった	30名
2	適切ではなかった	6名
3	無回答	3名

質問7-5 適切だったと思う理由は？

	<ul style="list-style-type: none">・気になっていたから・健康のために重要だと思った。・普段の自分と遠いテーマにふれられてよかった。・健康・スポーツをすることに皆が関心をもっていた・小山をスポーツの街にというのは良いと思ったので・日ごろ思っていた意見が多くの人に伝えられた
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

質問7-6 適切ではなかったと思う理由は？

	<ul style="list-style-type: none">・もっと優先度の高いテーマがありそうだから・思っていたテーマと違った為・大テーマから予想のつかないテーマだった。自分のようにスポーツがクライという人間には案も浮かばないほど合わない。・「豊かなまちづくり」ぐらいアバウトなほうがしっくりきたと思います。小テーマ2つとも、テーマ自体は良かったです。・本題テーマとすこし違うように思った・市民を呼んでまで議論するまでではないと思う・良く分からなかった
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

質問7-7 次年度、どんなテーマがよいと思いますか？

- ・予算をより有効につかうには？（かけた予算に対して市民や企業が納得する効果があるか）
- ・「不便に思う町の整備」（街灯、ミラー設置、細すぎる道等）
- ・小山市にはすばらしい史跡があるので「観光」をテーマにする。
- ・おやまくまの知名度をあげるためには。・小山に観光客を呼び込むには
- ・城南公園の整備・外灯にかかっている木を切る（夜が暗い為）
- ・犬のウンチの始末（子供が間違っで踏んでしまう）
- ・まちづくりにもっと直結するようなテーマ（イベントやお祭りについて）
- ・企業と人を呼び込むまち
- ・税関係
- ・子育て支援、活性化、地産地消
- ・小山市に住みたいと思える事（子育て、老後、教育）
- ・小山市の雇用問題。子育てについて。正社員を増やして税収が上がる。住みやすい町小山。
- ・安全な町づくり・子供の未来のためにすべきこと
- ・大テーマに沿っているなら参加不参加の考え時に困らないと思う。1回目のテーマなら、人口増についてで婚活と子育てセットにするとか、2回目のテーマなら、健康を当面にしてスポーツセットとか。
- ・行政の支出の少なくすむ文化芸術の振興
- ・「住みやすい町にするために」
- ・県外へ出てしまう若者へ、県内市内にいたいと思えるような街作りとは
- ・おまかせします
- ・小山市の子育て支援について
- ・税金の使い道、ふるさと納税とか
- ・小山市に人を呼ぶためにどのようなテーマパークを作るか
- ・人と企業を呼び込むまちづくり...について
- ・街づくり、計画（景観など）
- ・育児について
- ・小山市に欲しい商業施設などの意見を聴集してほしい
- ・コミュニティバスの運営の適正化・老朽化した校舎の改築・新市民病院について（どう市民に知ってもらうか、交通手段）
- ・子育てについて
- ・高齢社会にどのように対応していくのか・小山市に足りないものは何か
- ・病院の無料化など。（高すぎる医療費特に歯医者）
- ・今年のテーマを継続したらよい
- ・少子高齢化対策。予算の使い方について
- ・小山市をより良くするには？（子供たちの問題等）
- ・小山市で行うイベントの情報発信仕方（花火大会など）
- ・小山駅周辺の活性化もしくは「街づくり」の見直し

質問8-1 今回の情報提供は討議する上で参考になりましたか？

1	参考になった	33名
2	参考にならなかった	5名
3	無回答	0名

質問8-2 参考になったと思う理由は？

<ul style="list-style-type: none">・ 討議のネタになったから・ スポーツにニュースポーツがある事など知らない事を知れた。・ 具体的なデータがあった方が討議しやすい。・ 特に2回目の情報提供。知らない事がたくさんあった・ 普段なんとなくしか思っていない事が深く理解できた。・ 1回目は。2回目はテーマもぼやけすぎて、さらに情報はほぼ役立っていない。・ 結婚データが非常に興味深かったです・ 現状を知れたから・ 現状を知らない事には話し合いができないので、グラフなど分かりやすくてよかったです。・ 実情が分かって話しやすかった・ 知らない事だったので知れてよかったです・ 特に2回目のテーマの時にはプリントが配られたので見やすかったです。グラフなどを用いる事で理解しやすく、スムーズに討議できました。・ 情報がないと討議にならない。ただ、その日にはじめて得る情報量としては多いと感じた、ポイントをしぼる、事前に提供があってもよいかと。・ 色々な人の意見が聞けた・ 知らない情報をいただけただけなので参考になりました。・ 多くの人達の意見をきけたから・ 知らなかったデータ等が多く聞けた

質問8-3 参考にならなかったと思う理由は？

<ul style="list-style-type: none">・ バイアスがかかりそうだから・ データを見ても人の気持ちは分からない。そのデータを欲しかった。・ 眠くなるような話はいらぬ。軽く簡単に説明してほしい・ 1回目、意見の異なるデータがあったので、どちらを参考にして良いかわからなかった。

質問9-1 討議していく中で、各テーマに関してご自身がこれまで持っていたお考えに何か変化がありましたか？

1	自分の考えが参加前に比べて大きく変わった	7名
2	どちらかというと変わった	17名
3	どちらかというとは変わらなかった	9名
4	自分の考えにまったく変化がなかった	4名
5	無回答	2名

質問9-2 大きく変わった理由は？

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ひとり1スポーツということでは何かスポーツしてみようと思った。 ・今まで様々な人の意見を聞く機会があまりなかったから。 ・テーマが思いもしなかったものなので驚きました。 ・皆同じように考えてた、思っていたのがよく分かりました ・小山市に対して関心をもっていて、よくしたいという人達がこんなに沢山いることを知った。 ・結婚ていいなと思った。メンバーの話が聞けなかったらそう思わなかったかもしれません。
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

質問9-3 どちらかというとは変わった理由は？

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にはない発想を知ることができた。 ・他の人の意見がきけたので。 ・税金が正しく使われているか不安になった ・色々な意見が聞けたから ・自分とは関係ないと思っていた事でもほんの少しのきっかけで何にでも興味を持つ事ができる ・未婚がこんなにいると思わなかった ・考える機会さえなかったので新たな視点を持つ事ができ感謝です ・色々な人の意見が聞けた ・自分には無い意見が参考になった ・自分が考えつかなかった意見があったこと
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

質問9-4 どちらかというとは変わらなかった理由は？

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見と他者の意見の差が少なかったため ・どちらのテーマも己の中に固定の考えがあるものだった為。 ・行政の支出をできるだけおさえつつ、小山市を成熟させていくためには何をすればよいか？と常考していますので、その点はあまり変わりません。 ・そうかと感心させられるものはありましたが、そもそもあまり自分の意見とあまり違いがなかったため
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

質問9-5 まったく変わらなかった理由は？

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を言ったし、他の人の意見を聞いたけど色々な人がいるのでよいのでは？ ・自分の考えを持っているから ・短い討議時間で、自分の考えを変えるような意見はなかった。 ・チームメンバーと同意同感（共感）できた
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

質問10 小山市民討議会2014ウェルカまちづくりについてご意見やご要望がございましたら以下にご記入ください。

	・小山市がより良くなる様よろしくお願いいたします。
	・参加前はそこまでやる気がなかったが、参加者が積極的だったので、とても楽しかった。
	・このような話し合いの場に参加することはあまりなかったのですが、地元を活性化させるためにより機会だと思えます。次回はテーマが事前にわかっていると調べたり、他の人の意見を参考にできるので、そのようにしたほうが良いと思えます。
	・安全面から外灯の整備・防犯カメラを取り付ける
	・このような活動をしていることを初めて知りました。市民の意見を聞いてもらえる場がもっとたくさんある良いと思えます
	・まちづくりのテーマが「婚活」と「スポーツ」と少しズレていると思う。多少調べてきたことが活かせなかった。「想定外」のテーマだった。小テーマを事前に知らせて欲しい。
	・話し合いも盛り上がり楽しかった。もっと難しいテーマ化と思っていたが、割と身近なものだったので良かったです。
	・色々な人の意見を聞いて楽しかった。一人の意見を大事にしてもらう事が一番いい事だと思えます。
	・市民が市政を考え、交流会を企画してもらいたい。こういう機会を増やして、行政も変わるべきだと思う。
	・このような討議会に初めて参加しました。色々な方と話すことができ、思いのほか楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。
	・これは何のためにやっているのですか。本当に活用されるのでしょうか。テーマを先にお教えいただければ事前に意見をまとめられ、効率よく討議できると思えます。白鷗大の学生さん、ボランティア大変感謝致します。
	・討議会というものに初めて参加する人も多い中での事なので、討議会の流れをもっときれいなものにすれば良いかと（テーマの連絡等）。また、討議会が以前もあった事も知らなかったなので、それ自体のアピールをもっとすれば良いと思う。まず興味の無い人を呼ぶために、広報、ネット、という前に、そういう物がある、という事をポスター等で広くアピールすべきかと。
	・普段あまり接する事の無い同世代の方々と討議ができるというのはとても有意義で楽しめました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討議会全体の流れや時間配分など、とても良かったと思います。ただ、情報発信についてなど、どのグループも同じ意見があり、各団体でも同じ事を話されたりしているのでは？と思いました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ お弁当に青ノリ等は控えた方が良かったと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加前から楽しみにしていました。実際に参加してみて、思った以上に楽しく討議をすすめられました。グループの方との意見交換は活発にでき、とてもスムーズに話し合えたと思います。小山市をよりよく発展させるために、このような機会をもっと増やすと良いと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加してよかったです。ボランティアとか...皆様ありがとうございました
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を延ばして休憩をいれてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ この結果は広報等おもてにできるのでしょうか？市の考え等最後の感想を聞きたかった。報酬よりももっと回数人数を増やして達成してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日話した意見が、どうまとめられ、反映されたのか、されないのか、この後が重要だと思います。参加者には、結果がどこに出ているのか、いつでるのかなどの知らせをお願いします。今回はこの企画に参加させて頂き様々な意見を聞く事ができ、とても有意義な時間をすごせました。ありがとうございました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ とても楽しい時間を過ごせました。感謝しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の結果、成果を最低でも参加者には教えてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討議会への参加にあたり、ケーブルTVや新聞社が入る事を事前に記述した方がよい
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の意見を聞く事は良い事だと思うが、スポーツよりも重要な事で話し合うべき（7の質問のテーマのような事）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんいろいろな意見が聞けて良かったです。また機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。独身者にもランダムに依頼文を送って、話し合いするのもいいかと思いました
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段出会えない人と色々な話ができ、私としても有意義でした。1回目のテーマの情報提供は、文字が小さい上に文字数が多かった。グラフを用いたりする事でもっと分かりやすくしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流の場があって良かったし、楽しかったと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ あれやってこれやってと注文ばかりに討議、視点に参加者はなりやすく、これでいいのかなという気持ちも（意見を得る場なのかもしれませんが...）。私含め、市民の参加意識、責任感も同時に必要かと思いました。色々な準備等どうもありがとうございました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の意見を出せるのでとても良いと思います。ただ、丸1日でやるなら、お昼以外にも午前午後10分程度の休憩が欲しいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内もキレイな場所で良かった・人数もちょうど良いと思う・休憩時間が少し長い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段参加する事のない様な議会に参加出来て良かったと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年代を越え初めて会った方々と意見交換ができた事、また自分の意見と相手の意見との共有化が図られ、有意義な時間をアツという間に過ごさせて頂きました。今後も小山市民の為に尽力願います。ありがとうございました



おわりに

『小山市民討議会 2014 ウェルカムまちづくり』にご参加頂きました市民の皆様、並びに大久保寿夫市長をはじめとする小山市役所の皆様、そして白鷗大学ボランティアサークルの皆様、最後に情報提供の申し入れを快く承諾して頂きました。小山商工会青年部の皆様、誠に有難うございました。

市民討議会も今年で7回目となりました。この事業を行うことにより、毎年、市民の意見を行政に届けられることができ、そして皆様の知恵や経験、独創的な発想を行政施策に反映されることのできる新しい民主主義の形であるとも考えております。参加して頂いた市民・学生・行政関係の皆様、そして私たち小山青年会議所のメンバーは、小山市をより良くしたいと考え、より一層『官・民一体』となり、まちづくりを考えていく必要があると感じたことでしょう。また市民の皆様には今回の市民討議会をきっかけに、少しずつでもまちづくりに関わって頂き、この小山市の発展の一助となって頂きたいと思っております。

私たちはこの地域を明るく豊かにする為の事業を行う団体であります。市民討議会だけでなく、青少年の育成や個々の修練をする事業など、多岐にわたって活動を行っております。このような事業から得られる経験や気づきは、地域のために生かしていきたいと考えております。また私たちの活動にご理解、ご協力頂いている皆様と共に、これからも新たな活動をしていきます。

最後に、事業の開催にむけてご協力を頂きました市民討議会実行委員会の皆様、誠に有難うございました。そして小山市の発展、並びに小山市民の皆様のご多幸をご祈念いたしまして理事長の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人小山青年会議所
理事長 齋藤 弘明